

山国川圏域大規模氾濫減災協議会

山国川圏域流域治水協議会

日時：令和8年5月27日（水）14:00～

15:30 場所：中津市役所 3階大会議室

議事次第

1. 開会

2. 挨拶

3. 議事

トピックス（大分地方気象台）

資料 1

【減災協議会】

（1）規約の改正

（2）取組方針の確認について

資料 2

（3）各機関の取り組み状況について

資料 2

（4）その他（情報提供）

資料 3

【流域治水協議会】

（1）取り組みの振り返りについて

資料 4

（2）各機関の取り組み状況について

資料 5・資料 6

（3）令和8年度の取り組みについて

資料 7

（4）その他

資料 8

4. 閉会

減災協議会・流域治水協議会 出席者名簿

令和8年5月27日

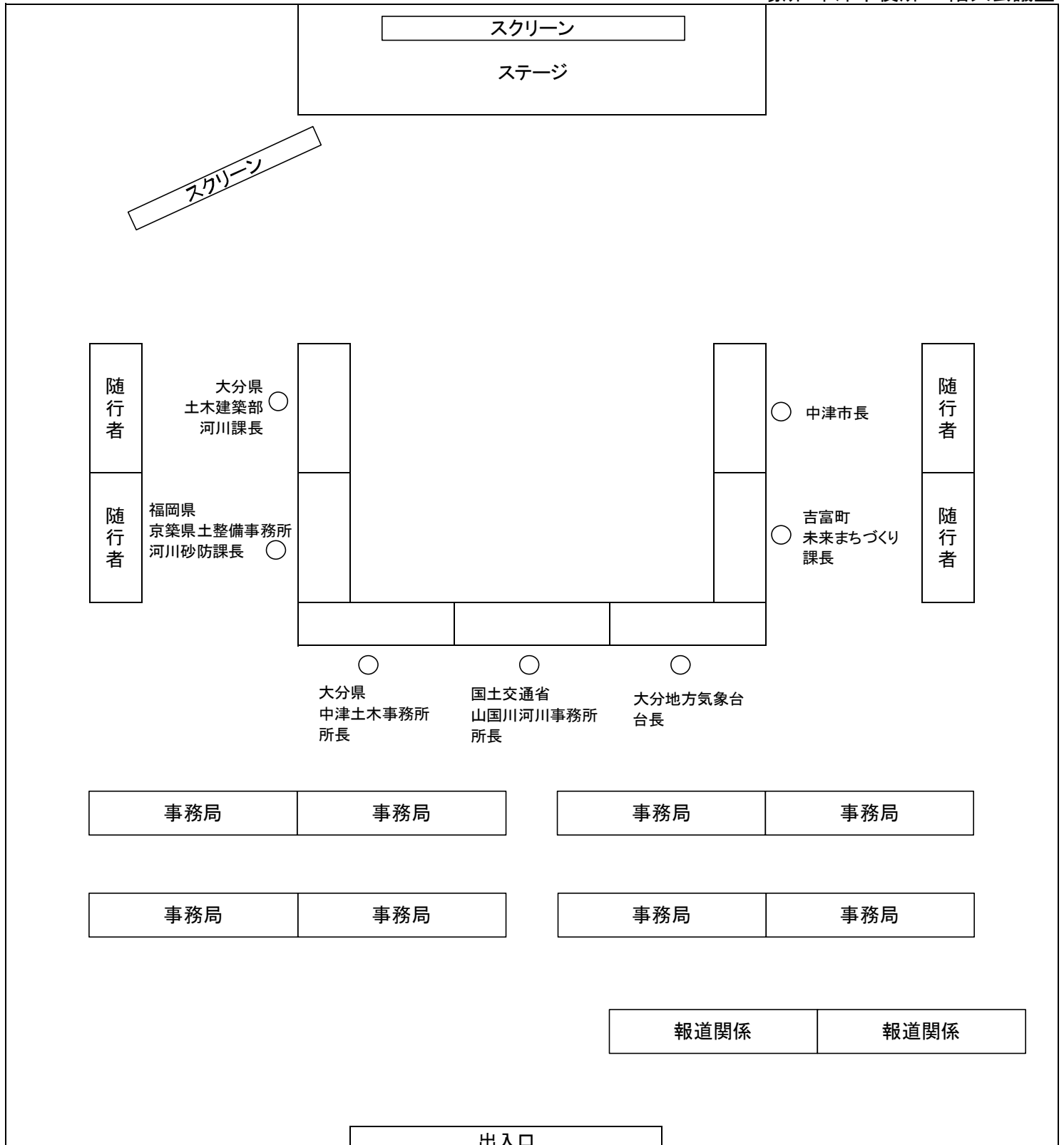
機関及び団体名		出・欠席			出席者（役職・氏名）			
		減災協議会	流域治水協議会	（備考）				
気象庁	福岡管区気象台	○	○	(WEB)	気象防災部長	永田 和彦	(代理)	
	大分地方気象台	○	○		台長	晴山 智		随 行 流域治水対策係長 柳 了介
中津市		○	○		中津市長	奥塚 正典		随 行 防災危機管理課長 小堀野 忠 排水対策課長 木下 英樹
吉富町		○	○		未来まちづくり課 危機管理室 課長	岩井 保子	(代理)	随 行 未来まちづくり課係長 今村 祐亮
上毛町		○	○	(WEB)	上毛町長	坪根 秀介		
福岡県	総務部防災危機管理局 防災企画課	○		(WEB)	主任主事	宮本 涼太 中島 晋弥	(代理)	
	県土整備部 道路維持課		○	(WEB)	課長技術補佐	今村 吉弘	(代理)	
	県土整備部 河川管理課	○	○	(WEB)	課長補佐	中津 顕知	(代理)	
	県土整備部 河川整備課	○	○	(WEB)	企画主幹	伊藤 圭也	(代理)	同席 技術主査 江口 敦
	県土整備部 港湾課		○	(WEB)	課長技術補佐	倉本 広志	(代理)	
	県土整備部 砂防課		○	(WEB)	課長技術補佐	井上 敏志	(代理)	
	建築都市部 都市計画課		○	(WEB)	都市計画課長	岡本 直樹		
	建築都市部 公園街路課		○	(WEB)	技術補佐	幸後 清二郎	(代理)	
	建築都市部 上下水道課		○	(WEB)	課長技術補佐	境 謙一	(代理)	
	建築都市部 住宅計画課		○	(WEB)	主任技師	北野 正一郎	(代理)	
	教育庁教育総務部 施設課		○	(WEB)	係長	正岡 裕紀	(代理)	
	農林水産部 農山漁村振興課		○	(WEB)	企画監	上村 茂一	(代理)	同席 技術主査 山口 勝
	農林水産部 林業振興課		○	(WEB)	係長	荒木 友和	(代理)	
	京築県土整備事務所	○	○		河川砂防課長	梶原 誠也	(代理)	
	行橋農林事務所		○	(WEB)	所長	能美 晋		随 行 課長 渡辺 敬
大分県	生活環境部防災局 防災対策企画課	○	○	(WEB)	主幹（総括）	瀬口 寛	(代理)	
	土木建築部 河川課	○	○		河川課長	四嶋 信一		随 行 課長補佐 田北亮平、副主任幹 大友嘉治
	土木建築部 砂防課		○	(WEB)	課長補佐	野上 圭一	(代理)	
	土木建築部 都市・まちづくり推進課		○	(WEB)	主査	中村 和也	(代理)	
	土木建築部 公園・生活排水課		○	(WEB)	課長補佐	阿南 徹矢	(代理)	
	土木建築部 建築住宅課		○	(WEB)	参事	平 清朗	(代理)	
	農林水産部 農地・農村整備課		○	(WEB)	課長補佐	渡辺 敬介	(代理)	
	農林水産部 森林保全課		○	(WEB)	参事	河野 孝徳	(代理)	
	農林水産部 森林整備室		×					
	北部振興局		○	(WEB)	課長補佐	池上 正人	(代理)	
	中津土木事務所	○	○		所長	北野 善隆		随 行 主査 安倍 敬博
林野庁 大分西部森林管理署			○	(WEB)	署長	杉崎 浩史		
国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター			○	(WEB)	九州整備局長	松村 伸治		
国土交通省九州地方整備局 山国川河川事務所		○	○		所長	原田 佐良子		

山国川圏域大規模氾濫減災協議会 山国川圏域流域治水協議会



配席図

場所: 中津市役所 3階大会議室



【参考】関係会議の効率化

合同開催

→ 洪水予報連絡会 [水防法]

自衛隊

警察署

インフラ
(NTT、JR、九電)

報道
(NHK)

河川情報
センター

→ 大規模氾濫減災協議会 [水防法]

→ 水防連絡会 [水防法]

気象庁
気象台

大分県
防災局

福岡県防災
危機管理局

国土交通省
河川事務所

中津市

吉富町

上毛町

大分県
河川課

福岡県
河川担当課

県土整備・
土木事務所

県関係部局（本庁各課、振興局、県土整備・農林・土木事務所等）
（道路、港湾、砂防、都市計画、公園・下水道、住宅、教育委員会、農林水産）

農林水産省
九州農政局

河川協力団体

幹事会オブザーバー

合同開催

→ 流域治水協議会 [河川法、特定河川法、水防法]

山国川圏域大規模氾濫減災協議会 規約

(名称)

第1条 この会議は「山国川圏域大規模氾濫減災協議会」(以下「協議会」という。)と称する。

(目的)

第2条 協議会は、水防法(昭和24年法律第193号)第15条の10に基づき、河川管理者、県、市町等が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進することにより、山国川圏域において洪水氾濫が発生することを前提とし、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的とする。

(対象河川)

第3条 協議会は、山国川水系直轄管理区間及び指定管理区間、並びに中津市、吉富町、上毛町内の2級河川を対象とする。

(協議会の構成)

第4条 協議会は、別表1の職にある者をもって構成する。

2 協議会の運営、進行及び招集は事務局が行う。

3 事務局は、第1項によるもののほか、協議会構成員の同意を得て、必要に応じて別表1の職にある者以外の者(学識経験者等)の参加を協議会に求めることができる。

(幹事会の構成)

第5条 協議会に幹事会を置く。

2 幹事会は、別表2の職にある者をもって構成する。

3 幹事会の運営、進行及び招集は事務局が行う。

4 幹事会は、協議会の運営に必要な情報交換、調査、分析、減災対策等の各種検討、調整を行うことを目的とし、結果について協議会へ報告する。

5 事務局は、第2項によるもののほか、幹事会構成員の同意を得て、必要に応じて別表2の職にある者以外の者(学識経験者等)の参加を幹事会に求めることができる。

(協議会の実施事項)

第6条 協議会は、次の各号に掲げる事項を実施する。

一 洪水の浸水想定等の水害リスク情報を共有するとともに、各構成員がそれぞれ又は連携して実施している現状の減災に係る取組状況等について共有する。

二 的確な避難に資するための正確で分かりやすい情報受発信と着実な施設整備、住民や企業が主体的に危険を回避するための水防災啓発・教育・訓練及び、洪水氾濫による被害の軽減や避難時間確保及び地域経済への影響最小化のための水防活動を実現するために、各構成員がそれぞれ又は連携して取り組む事項をまとめた地域の取組方針を作成し、共有する。

三 毎年、協議会を開催するなどして、地域の取組方針に基づく対策の実施状況を確認する。

また、本協議会等を中心として、毎年出水期前にトップセミナーや堤防の共同点検等を実施し、状況の共有を図る。

四 その他、大規模氾濫に関する減災対策に関して必要な事項を実施する。

(会議の公開)

第7条 協議会は、原則として報道機関を通じて公開とする。ただし、審議内容によっては、協議会に諮り、非公開とすることができる。

2 幹事会は原則非公開とし、幹事会の結果を協議会へ報告することにより公開と見なす。

(協議会資料等の公表)

第8条 協議会に提出された資料等については速やかに公表するものとする。ただし、個人情報等で公表することが適切でない資料等については、協議会の了解を得て公表しないものとする。

2 協議会の議事については、事務局が議事概要を作成し、出席した委員の確認を得た後、公表するものとする。

(事務局)

第9条 協議会の庶務を行うため、事務局を置く。

2 事務局は、山国川河川事務所流域治水課、福岡県河川管理課、大分県河川課に置く。

(雑則)

第10条 この規約に定めるもののほか、協議会の議事の手続きその他運営に関し必要な事項については、協議会で定めるものとする。

(附則)

第11条 本規約は、平成28年3月28日から施行する。

平成29年5月25日改定

平成29年12月20日改定

平成30年5月31日改定

令和 3 年5月 13 日改定

令和 5 年5月24日改定

令和 8 年5月27日改定

別表1(協議会の構成員)

国土交通省九州地方整備局 山国川河川事務所長

気象庁 福岡管区気象台長

気象庁 大分地方気象台長

中津市長

吉富町長

上毛町長

福岡県総務部 防災企画課長

~~福岡県総務部 消防防災指導課長~~

福岡県県土整備部 河川管理課長

福岡県県土整備部 河川整備課長

福岡県京築県土整備事務所長

大分県生活環境部 防災対策企画課長

大分県土木建築部 河川課長

大分県中津土木事務所長

別表2(幹事会の構成員)

国土交通省九州地方整備局 山国川河川事務所 副所長

気象庁福岡管区気象台 気象防災部 予報課長

気象庁大分地方気象台 防災管理官

中津市 防災危機管理課長

吉富町 未来まちづくり課長

上毛町 総務課長

福岡県総務部 防災企画課 課長補佐

~~福岡県総務部 消防防災指導課 課長補佐~~

福岡県県土整備部 河川管理課 課長補佐

福岡県県土整備部 河川整備課 課長補佐

福岡県京築県土整備事務所 用地課長

大分県生活環境部 防災対策企画課 主幹(総括)

大分県土木建築部 河川課主幹(総括)

大分県中津土木事務所 次長兼企画調査課長

令和8年度 山国川圏域大規模氾濫減災協議会

トピックス(大分地方気象台)

令和8年5月27日

山国川圏域大規模氾濫減災協議会

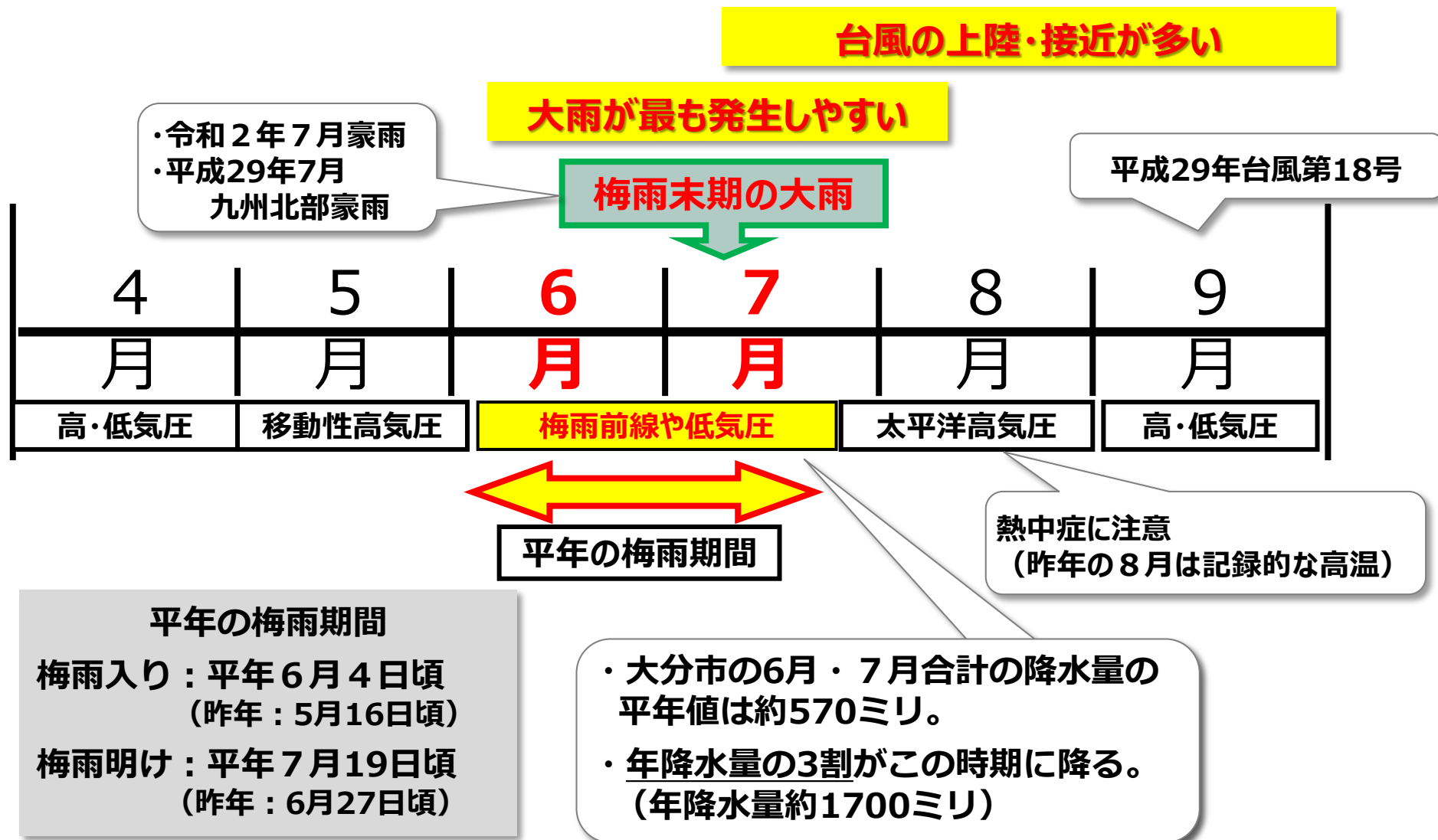
トピックス（大分地方気象台）

- ・向こう3か月の天候の見通し
- ・新しい防災気象情報について

令和8年5月27日 大分地方気象台



春から夏の九州北部地方の平年の天候経過



九州北部地方の天候の見通し（6月～8月）

	気温 低 並 高 (%)	降水量 少 並 多 (%)	天候
6～8月	高い 10 : 20 : 70	ほぼ平年並 30 : 30 : 40	
6月	高い 10 : 30 : 60	ほぼ平年並 30 : 30 : 40	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
7月	高い 10 : 30 : 60	ほぼ平年並 30 : 40 : 30	期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様には晴れの日が多いでしょう。
8月	高い 10 : 30 : 60	ほぼ平年並 30 : 40 : 30	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

6月～8月の見通しのまとめ

予報のポイント

- 夏の気温は、暖かい空気に覆われやすいため、**高い**でしょう。

留意していただきたいこと

- 期間を通して**高温**の予報。
- **暑さ対策**（熱中症対策等、農作物・家畜の管理等）をお願いします。

エルニーニョ現象になる
見込みですが気温は高い



- **降水量**はほぼ平年並の予報ですが、**湿った空気が流れ込みやすい時期があり、梅雨前線の活動が活発となる時期がある**見込み。
- **近年は梅雨時期の大雨の発生頻度は増加**しています。最新の気象情報等を活用いただき、**大雨への備え**をお願いします。

次回の3か月予報の発表は、**6月23日（火）14時**です。



今年5月29日 スタート!

新しい 防災気象情報



警戒レベル

5段階のレベルごとに、**とるべき行動** と **きっかけとなる情報**

警戒レベル

住民がとるべき行動

行動を促す情報

警戒
レベル **5**

命の危険 直ちに安全確保！

緊急安全確保



警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難！



警戒
レベル **4**

危険な場所から **全員** 避難

避難指示

警戒
レベル **3**

危険な場所から **高齢者等** 避難

高齢者等避難

警戒
レベル **2**

自らの避難行動を確認

大雨注意報
洪水注意報

警戒
レベル **1**

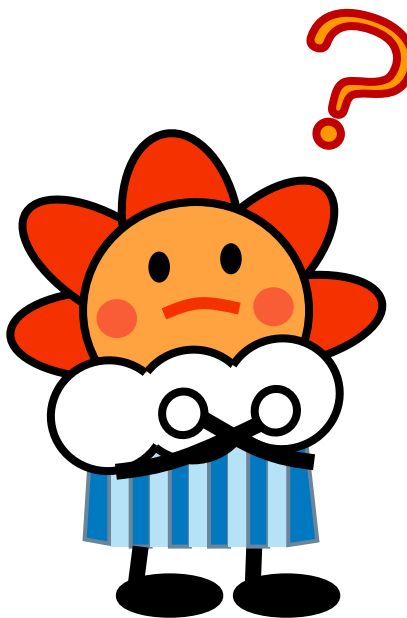
災害への心構えを高める

早期注意情報
(警報級の可能性)

これまでの防災気象情報は...

防災気象情報

洪水注意報
大雨警報
土砂災害警戒情報
氾濫発生情報
高潮特別警報



警戒レベル

避難指示
高齢者等避難など
災害時にとるべき
行動を5段階で示す

防災気象情報と警戒レベルの
対応関係がわかりづらい

「警戒レベル」と「警戒レベル相当情報」

警戒レベル

	住民が とるべき行動	行動を促す 情報 (避難情報等)
5	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保

<警戒レベル4までに必ず避難！>

4	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	危険な場所から 高齢者等は避難※	高齢者等避難
2	自らの避難行動を 確認する	洪水、大雨、 高潮注意報
1	災害への心構えを 高める	早期注意情報

主な防災気象情報（警戒レベル相当情報）

警戒 レベル 相当 情報	防災気象情報				
	洪水等に関する情報			土砂災害	高潮害
	指定河川 洪水予報 (河川毎)	洪水害 (市町村 毎)	大雨浸水害 (市町村 毎)		
5 相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (浸水害)		大雨特別警報 (土砂災害)	高潮特別警報

4 相当	氾濫危険情報			土砂災害警戒情報	高潮特別警報 高潮警報
3 相当	氾濫警戒情報	洪水警報		大雨警報 (土砂災害)	警報に切り替える 可能性が高い 高潮注意報
2 相当	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報		高潮注意報
1 相当					

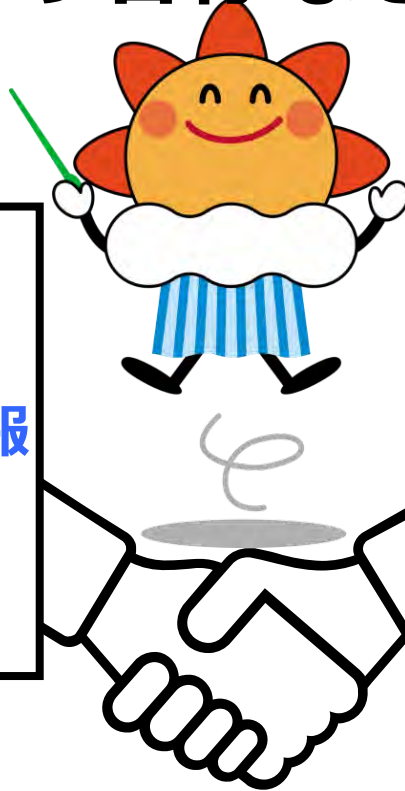
警戒レベルとの対応関係が整理されてはいるものの、とても分かりにくい

- 情報名称がバラバラで、どのレベルに相当する情報なのか非常にわかりづらい
- 警戒レベル4相当の情報がないものがある（洪水・大雨浸水）
- “警戒情報”が、洪水と土砂災害で相当するレベルが異なる

今年の5月29日から 防災気象情報の名称などを大きく変更

防災気象情報

レベル3大雨警報
レベル4土砂災害危険警報
レベル5氾濫特別警報
レベル5高潮特別警報



警戒レベル

避難指示
高齢者等避難など
災害時にとるべき
行動を5段階で示す

防災気象情報を警戒レベルと結び付け
より避難の判断をやすく
“レベル○＋災害＋名称”に統一

5月29日から始まる新しい防災気象情報 避難のタイミングはレベルで判断

警戒 レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
5 相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
4 相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
3 相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
1	早期注意情報			

どんな災害が起こる？

河川氾濫



大河川の
増水・氾濫

大雨



低い土地の浸水
中小河川の
増水・氾濫

土砂災害



がけ崩れ
土石流

高潮



海水面の上昇
波の打上げ
による浸水

警戒
レベル

5
相当

レベル5
氾濫特別警報

レベル5
大雨特別警報

レベル5
土砂災害特別警報

レベル5
高潮特別警報

4
相当

レベル4
氾濫危険警報

レベル4
大雨危険警報

レベル4
土砂災害危険警報

レベル4
高潮危険警報

3
相当

レベル3
氾濫警報

レベル3
大雨警報

レベル3
土砂災害警報

レベル3
高潮警報

2

レベル2
氾濫注意報

レベル2
大雨注意報

レベル2
土砂災害注意報

レベル2
高潮注意報

今どのくらい危険なの？

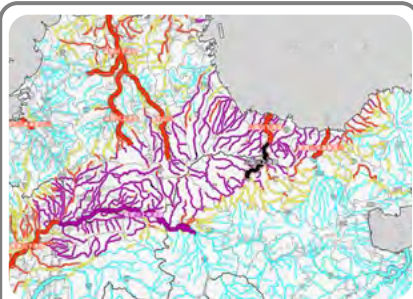
色とレベルでわかる避難のタイミング

河川氾濫

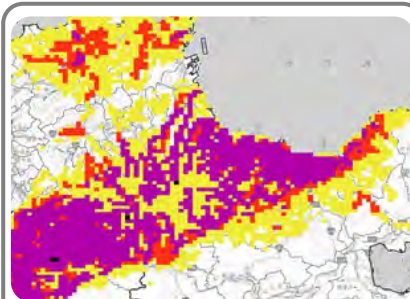
大雨

土砂災害

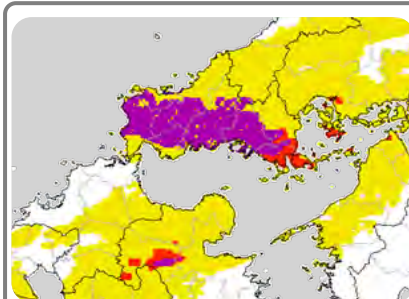
高潮



洪水キキクル



大雨キキクル



土砂キキクル

警戒
レベル

5
相当

レベル5
氾濫特別警報

レベル5
大雨特別警報

レベル5
土砂災害特別警報

レベル5
高潮特別警報

-----レベル4までに避難の判断を-----

4
相当

レベル4
氾濫危険警報

レベル4
大雨危険警報

レベル4
土砂災害危険警報

レベル4
高潮危険警報

3
相当

レベル3
氾濫警報

レベル3
大雨警報

レベル3
土砂災害警報

レベル3
高潮警報

2

レベル2
氾濫注意報

レベル2
大雨注意報

レベル2
土砂災害注意報

レベル2
高潮注意報

警戒レベル相当情報以外の 特別警報・警報・注意報

- 警戒レベル相当情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）以外の特別警報・警報・注意報は、これまでと変わりません。
- これら情報について、気象庁ホームページ等では、特別警報は黒、警報は赤を用いるが、警戒レベルには相当しないことに留意してください。

警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報

特別警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
注意報	強風、波浪、大雪、風雪、濃霧、雷、乾燥、 なだれ、着氷、着雪、霜、低温、融雪

※これらの特別警報や警報は、レベル5（緊急安全確保）やレベル3（高齢者等避難）には相当しないことに留意。

線状降水帯の予測精度向上に向けた取組

観測の強化、予測の強化により、線状降水帯に関する情報（文章・図）の段階的な改善を実施

- ・ 令和8年から、2～3時間前を目標にした予測情報（文章・図）を提供
- ・ 令和11年から、半日程度前に線状降水帯による大雨の可能性が高い市町村を
把握できる格子形式の分布図を提供

情報のリードタイムを伸ばし、対象地域を絞り込むことで、国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく。

文章情報

半日前予測

半日程度前からの呼びかけ

令和4年

地方単位で予測

↓

令和6年

府県単位で
発生の半日程度前に予測

〇〇県では、〇〇から〇〇にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害発生危険度が急激に高まる可能性があります。

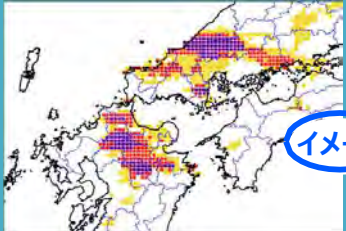
図情報

計画

令和11年

線状降水帯発生による大雨の可能性が高い市町村を把握できる格子形式の分布図を表示※1

イメージ



直前予測

確度の高い直前の予測

令和8年

〇〇県北部などの一次細分区域単位で
線状降水帯となる
2～3時間前を目標に予測

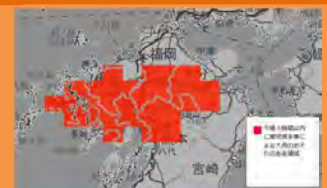
気象防災速報（線状降水帯直前予測）

〇〇県北部では、今後3時間以内に線状降水帯が発生し、非常に激しい雨が同じ場所で降り続く可能性が高まっています。命に危険が及ぶ災害の危険度が非常に高まるおそれがあります。

線状降水帯予測マップ

令和8年

線状降水帯となり、災害をもたらす大雨のおそれがある大まかな領域を2～3時間前を目標に図情報で表示



発生情報

令和3年

〇〇県北部などの一次細分区域単位で線状降水帯の発生をお知らせ

+

追加

令和5年

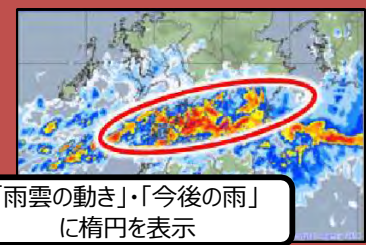
最大30分程度前倒し

〇〇県北部では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続いています。命に危険が及ぶ災害発生危険度が急激に高まっています。

令和3年

線状降水帯の雨域を楕円で表示
最大30分程度前倒して解析した結果も楕円で表示（令和5年～）

「雨雲の動き」「今後の雨」に楕円を表示



※ 従前の計画通り令和11年に提供開始予定。
令和12年度運用開始予定の次期静止気象衛星により
更なる予測精度向上を目指す。

令和8年5月下旬から新たに開始

15

令和8年度 山国川圏域大規模氾濫減災協議会

(2)山国川圏域大規模氾濫減災協議会取組方針

(3)各機関の取り組み状況

令和8年5月27日

【山国川の減災に係る主な取組項目】

○ハード対策の主な取組

- 洪水を河川内で安全に流す対策
- 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

○ソフト対策の主な取組

- 避難を促すための正確で迅速な防災情報の伝達
- 情報伝達、避難計画等に関する取組
- 平常時からの住民等への周知・教育・訓練に関する取組
 - ・的確な避難を実施するためのハザードマップの作成
- 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項
- 排水活動及び施設運用の強化に関する取組
- 民間企業への洪水リスクの情報共有

各機関の取り組み状況について (幹事会の概要)

山国川圏域大規模氾濫減災協議会(幹事会)の概要(R8.5.19)

開催概要

日時：令和8年5月19日(火) 14:30～15:30
場所：中津土木事務所 3階大会議室

会議の構成員

機関及び団体名、部署名

気象庁 福岡管区気象台

気象庁 大分地方気象台

中津市 防災危機管理課

吉富町 未来まちづくり課

上毛町 総務課

福岡県 総務部 防災企画課

福岡県 総務部 消防防災指導課

福岡県 県土整備部 河川管理課

福岡県 県土整備部 河川整備課

福岡県 京築県土整備事務所 用地課

大分県 生活環境部 防災対策企画課

大分県 土木建築部 河川課

大分県 中津土木事務所 企画調査課

国土交通省 九州地方整備局 山国川河川事務所

議事内容

1. 規約の改正
2. 取組方針の確認について
3. 各機関の取り組み状況について
4. その他(情報提供)

主な取組項目

○ハード対策の主な取組

- 洪水を河川内で安全に流す対策
- 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

○ソフト対策の主な取組

- 避難を促すための正確で迅速な防災情報の伝達
- 情報伝達、避難計画等に関する取組
- 平常時からの住民等への周知・教育・訓練に関する取組・適格な避難を実施するためのハザードマップの作成
- 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項
- 排水活動及び施設運用の強化に関する取組
- 民間企業への洪水リスクの情報共有



各機関の取り組み状況

1. 取組方針の確認について

- ・主な取組項目について確認した

2. 各機関の取り組み状況について

○山国川河川事務所(資料-1:P3~P13)

- ・河川改修事業、関係自治体との情報伝達及び水防活動の実施体制強化、防災教育の取組等

○大分地方気象台(資料-1:P14~P19)

- ・河川氾濫・大雨に関する情報の改善、大雨キキクルの新設、線状降水帯の予測精度向上に向けた取組

○福岡県(資料-1:P20~P31)

- ・ターゲットを絞った防災意識の向上啓発、防災アプリによる防災情報の配信、自主防災組織活性化事業、個別避難計画作成促進事業、防災情報の提供や広報、要配慮者利用施設避難確保計画作成の支援

○大分県(資料-1:P32~P40)

- ・マイ・タイムラインの作成/地域の訓練支援、防災VR等を活用した防災意識の醸成、防災士養成研修への講師派遣、中小河川等洪水時ハザードマップ作成支援、量水標の設置

○中津市(資料-1:P41~P46)

- ・水防演習の実施、外国人向けの防災バスツアー実施、なかつメールの多言語配信、津波避難ビル看板の更新、告知放送戸別受信機の交換

○吉富町(資料-1:P47~P51)

- ・広報誌やHPでの防災情報の提供、テレビを活用した情報発信の強化、つながる防災プロジェクト、シープラス+教室の開催

○上毛町(資料-1:P52~P56)

- ・上毛町水防センターの運用開始、広報誌による周知・啓発、防災講座の開催、小学校での防災授業の開催、防災士資格取得の推進

3. その他

- ・高齢者や障がい者、外国人への適切な案内・避難時の対応について(NPO法人レスキューサポート九州)
- ・向こう3か月の天候の見通しに関する情報提供(大分地方気象台)
- ・R7気象業務法・水防法改正について、山国川流域タイムラインについて情報提供(山国川河川事務所)

各機関の取り組み状況 (国・県・市・町・気象台)について

国土交通省
山国川河川事務所

■河川整備の状況 令和 7、8年度 山国川河川改修事業

とうばる あいはら

①唐原・相原地区堤防整備事業

なかつしあいはら

(大分県中津市相原地区)

〈実施内容〉

築堤 R7 : L=90m、R8 : L=100m(予定)



③百留・三光佐知地区河道掘削事業

こうげまちひやくどみ

(福岡県上毛町百留地区)

なかつしさんこうさち

(大分県中津市三光佐知地区)

〈実施内容〉

R7:河道掘削 V=1,600m3 R8:河道掘削 V=1,400m3 (予定)

百留・三光佐知地区



④原井・三光土田地区河道掘削事業

こうげまちはらい

(福岡県上毛町原井地区)

なかつしさんこうつちだ

(大分県中津市三光土田地区)

〈実施内容〉

R7:原井 河道掘削 V=4,900m3 R7:護岸工 A=870m2

R8:原井 河道掘削 V=4,500m3(予定) R8:護岸工 A=484m2 (予定)

原井・三光土田地区

[三光土田地区]



[原井地区]

とうばる

②唐原地区河川防災ステーション事業

こうげまちとうばる

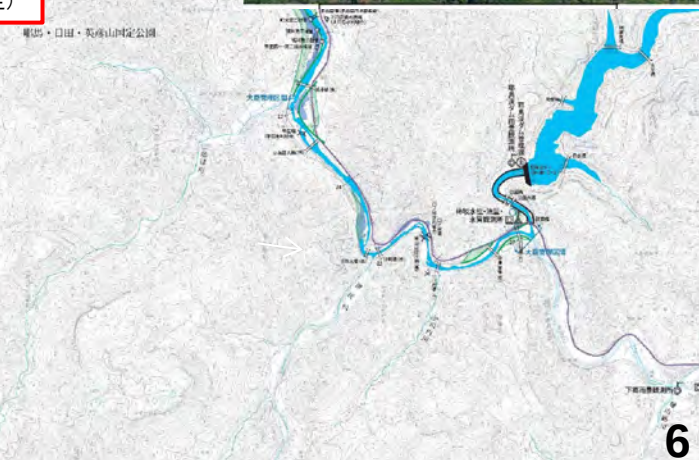
(福岡県上毛町唐原地区)

〈実施内容〉

防災ステーション整備 R7:舗装、水路工他 R8:舗装、備蓄材他(予定)



早良・日田・英彦山記念公園



山国川河川事務所・中津土木事務所・中津市

令和7年度取組み実施

■ 防災意識重点強化事業

「流域治水っち何するん？」防災展

大分県立工科短期大学校(学園祭)にて、山国川の水害や地形特性を紹介するとともに、流域治水の取り組みや防災VRの体験等を設けたイベントを開催

<実施した主な取り組み>

○大分県立工科短期大学校(学園祭)にてイベント展を開催

・開催日 令和7年11月1日(土)～2日(日)

・開催内容

- ①山国川の概要(山国川の模型・立体地図)
- ②近年の水害の発生状況等(パネル展示)
- ③流域治水の取り組み(模型で解説)
- ④水害に対する心構え、避難に役立つ防災情報、自然災害を体験できるVR等を設置
- ⑤こどもTEC服の試着体験(記念撮影)
- ⑥災害対策車両の缶バッジ、カードの配布

・参画機関

山国川河川事務所
中津土木事務所

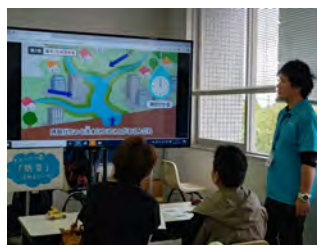
レスキューサポート九州
中津市



流域治水・山国川模型の展示



自然災害映像VR体験



防災動画の視聴



2日間で推定300名来場



パネル展示

■ 関係自治体との情報伝達共有及び水防活動の実施体制の強化

● 今後の出水期に向けて、国・市町（中津市・吉富町・上毛町）による防災体制の強化を目的にWeb会議ツールを用いた情報共有訓練を実施。（R7.4.21.22・R8.4.16.17）



中津市長



吉富町長



上毛町長

■ 主な内容

ホットライン

- ・「避難判断水位」を超過する見込みとなった場合
- ・「氾濫危険水位」を超過する見込みとなった場合
- ・加えて、「水害リスクライン」の3時間先予測水位が『氾濫発生水位』（旧：氾濫する可能性のある水位）を超過すると予測された時点で実施。
- ・堤防からの越水、溢水など氾濫の発生を確認した場合に加え、水防法の改正により『氾濫発生水位』に到達した場合に実施。
- ・耶馬溪ダム（ただし書操作）の放流開始の3時間前、1時間前、放流開始
- ・気象庁が同じ市町村において、連続（概ね3時間以内）して、2回記録的短時間大雨情報が発表された市町村へ実施。
- ・大規模地震（震度5弱以上）の発生など

分かりやすい河川情報・危機管理情報の共有

- ・雨量や水位のリアルタイム情報は「川の防災情報」で把握
- ・氾濫危険箇所調書
（EX.柿坂が0mになれば△地区が浸水開始）の共有・活用
- ・「水害リスクライン」の水位予測システムの活用
- ・危機管理型水位計やCCTV監視カメラの活用

水防団による巡視や水閘操作員の安全確保

- ・巡視や水閘門操作の引き続きの協力依頼
- ※急な水位上昇（R4年の出水では、20分に4m上昇）に留意し、身の安全の確保を第一に、水防団の活動や水閘門操作をお願いしたい。

山国川河川事務所

令和7年度取り組み実施

■ 関係自治体等と洪水リスクの情報共有及び水防活動の実施体制の強化

● 今後の出水期に向けて、関係機関と水防活動の実施体制の強化や洪水リスクの共有を図ることを目的に水防連絡会及び洪水予報連絡会(幹事会)を開催(R7.5.22)、河川合同巡視を実施(R7.6.4)

水防連絡会・洪水予報連絡会(幹事会)



河川合同巡視(危険箇所の合同点検)

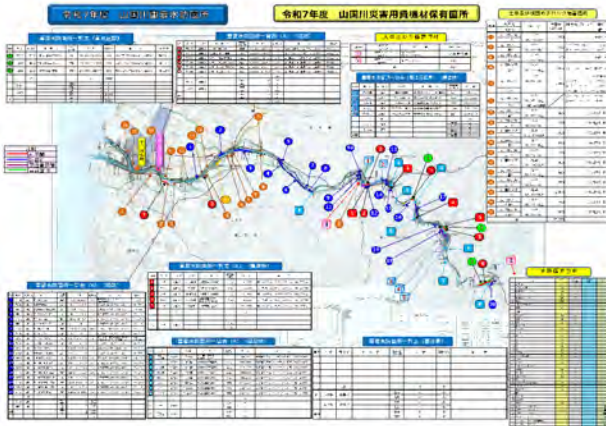
相原地区



原井地区



重要水防箇所図・水防備蓄資材箇所図



樋田地区



戸原地区



山国川河川事務所

令和7年度取組み実施

■ 災害対策用機械の配備

● 概要

山国川河川事務所には、以下の災害対策用機械が配備されております。災害対策用機械を用いた訓練を実施。自治体からの要請により災害対策車を派遣します。



平成大堰予備ゲート庫

手続き等

- 排水ポンプ車等の配備は九州地方整備局で一括して行われます。このため、九州地方整備局に要請して頂く必要があります。
- 被災地から要請があれば、事務所の管轄外にも支援に向かうことがあります。
- 現地までの車両搬入、作業後の車両搬出にかかる費用は国交省負担ですが、排水運転にかかる費用は要請者負担となります。

※内水排除等を支援するには一定の手続きが必要となりますが、まずは事務所にご相談下さい。

配備された機械

- 排水ポンプ車 1台（排水量60m³/分）
1台（排水量30m³/分）
- 照明車 1台

○排水ポンプ車 訓練状況（一例）

水中ポンプの設置



ホースの敷設



ポンプ排水運転



○照明車
現地配備状況（一例）



■「水防災意識社会再構築」防災教育の取り組み

防災教育、環境学習を大人から子供まで幅広く実施し、防災意識等の向上を図る。

防災教育 鳥居地区民生委員
(R7.5.14)



防災教育 吉富小学校 (R7.5.23)



防災教育 西吉富小学校 (R7.6.6)



防災教育 唐原小学校 (R7.6.24)



防災教育 中津東高等学校 (R7.8.29)



防災教育 豊田小学校 (R7.9.11)

■ 避難判断の材料となる河川カメラ画像を専用回線等で情報提供するための基盤整備

令和2年度より、YouTubeへの画像配信を行っており、引き続き配信を行います。



【試験配信】九州地方整備局 山国川映像
【Live動画】

YouTubeによる河川ライブ映像配信

整備局名	対象河川	カメラ数	配信 開始日
北海道開発局	13水系14河川 (天塩川水系天塩川他)	14	令和元年 8月16日
近畿地方整備局	9水系15河川 (由良川水系由良川他)	16	令和元年 6月17日
中国地方整備局	2水系4河川 (高梁川水系高梁川他)	4	令和元年 7月31日
四国地方整備局	1水系2河川 (肱川水系)	4	令和元年 10月31日
九州地方整備局	20水系74河川	310	令和2年 5月29日

■ 現在配信中のYouTubeサイト

北海道開発局

近畿地方整備局

中国地方整備局
【高梁川】 【太田川】

四国地方整備局

九州地方整備局

■ 水位上昇速度が早い水位の変化をリアルタイムで詳細に把握する

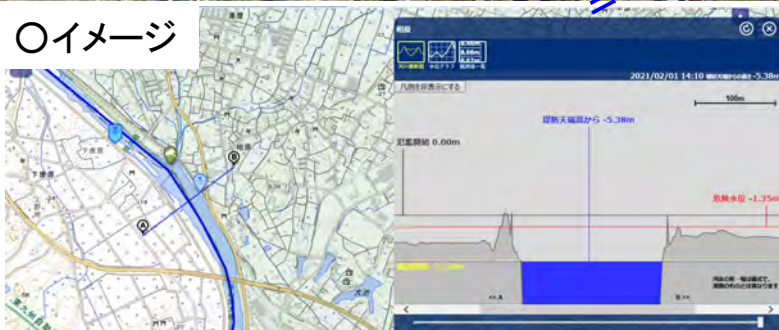
山国川水系において、リアルタイムで水位を把握し、適時的確な避難行動が可能となるよう、洪水時に特化した水位計(危機管理型水位計)を追加しました。(令和3年6月より配信開始)

現在、山国川では11箇所を設置、配信中

○危機管理水位計 幸子地先(山国川左岸2k900付近) (R3年設置済)



○イメージ

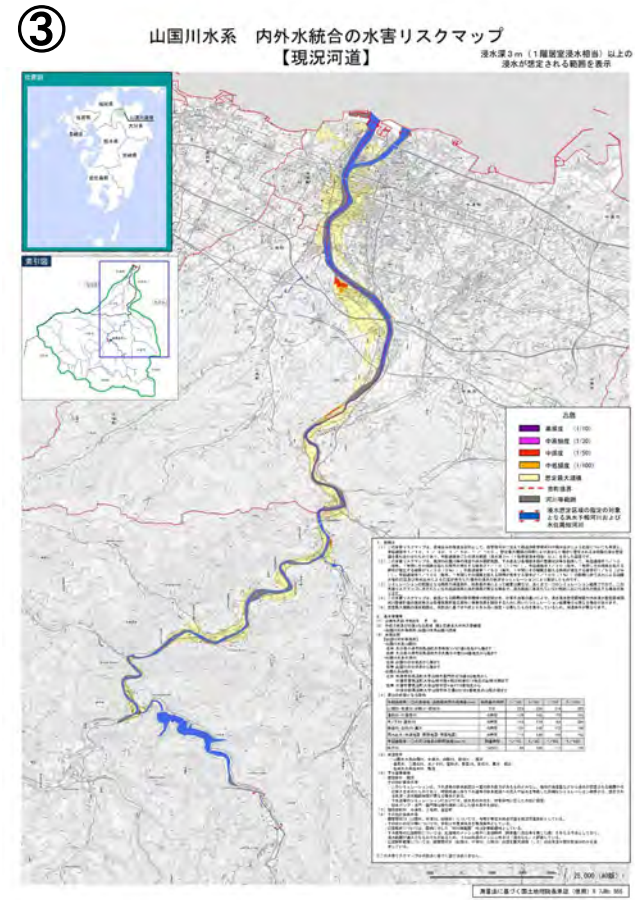
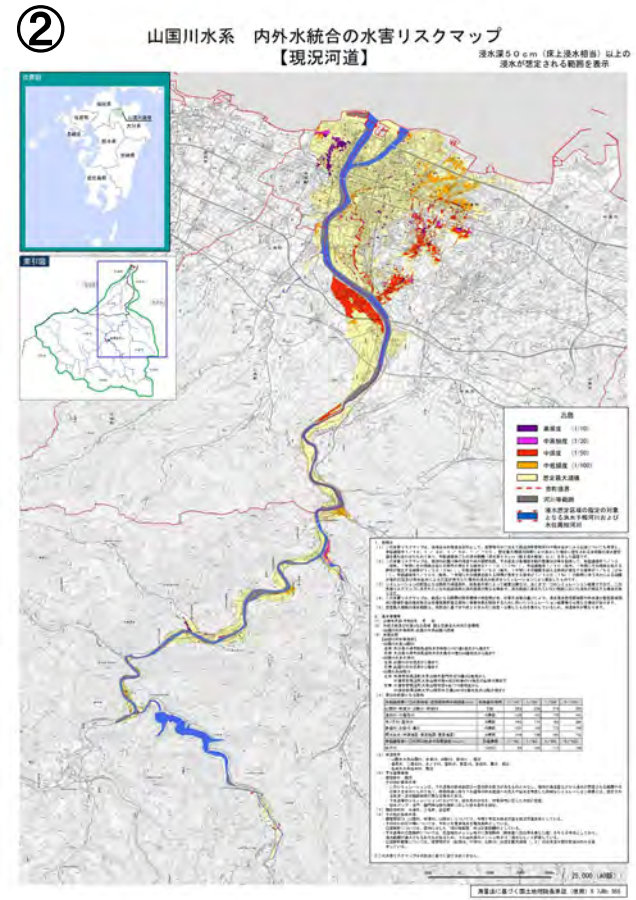
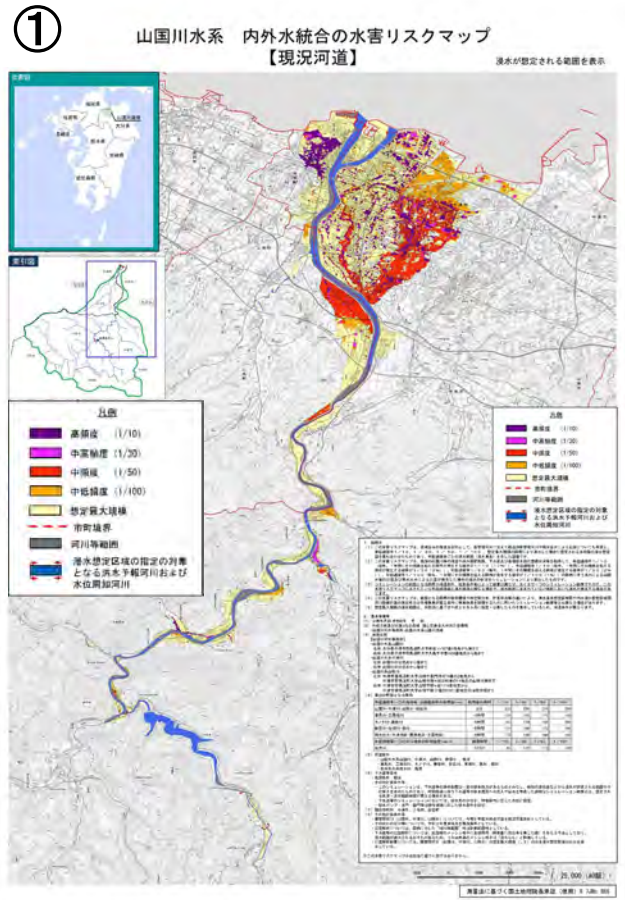


流域治水の取り組みを推進する水害リスクマップ作成

山国川水系において、発生頻度が高い降雨規模の場合に想定される浸水範囲や浸水深を明らかにするため、内水の影響も考慮した内外水一体型の水害リスクマップを作成。
令和8年3月31日にホームページ公表済。

- ・ 浸水が想定される範囲を表示した水害リスクマップは、①浸水が想定される範囲、②浸水深50cm以上、③浸水深3.0m以上の3パターンで作成。

(例) 浸水が想定される範囲

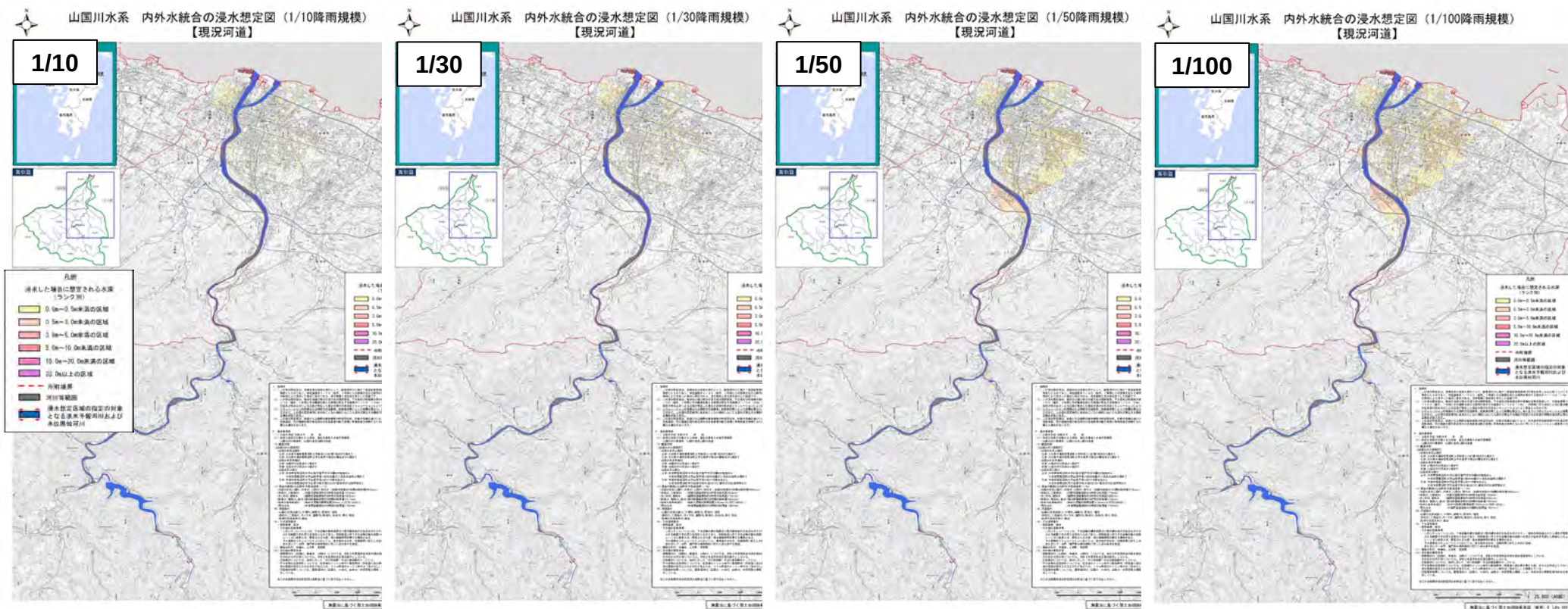


■ 流域治水の取り組みを推進する多段階浸水想定図作成

山国川水系において、公表済みの想定最大規模に加え、より頻度の高い複数の年超過確率毎に多段階の浸水想定図を作成。令和8年3月31日にホームページ公表済。

- ・想定最大規模に加え、高頻度から中頻度で発生する降雨規模ごとに作成。(1/10・1/30・1/50・1/100)

(例) 浸水が想定される範囲



大分地方気象台

防災気象情報の改善に向けた準備

- 防災気象情報（大雨、氾濫、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。**（例：レベル4大雨危険警報 等）
- 情報と対応する防災行動との関係が明確に。（レベルの数字で、とるべき行動が分かる！）

防災気象情報の情報体系とその名称

警戒 レベル 相当情報	防災気象情報				
	洪水等に関する情報			土砂災害	高潮害
	指定河川 洪水予報 (河川毎)	洪水害 (市町村毎)	大雨浸水害 (市町村毎)		
5 相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (浸水害)		大雨特別警報 (土砂災害)	高潮氾濫発生情報
4 相当	氾濫危険情報			土砂災害警戒情報	高潮特別警報 高潮警報
3 相当	氾濫警戒情報	洪水警報		大雨警報 (土砂災害)	警報に切り替える 可能性が高い 高潮注意報
2 相当	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報		高潮注意報
1 相当	早期注意情報				

新しい防災気象情報の情報体系とその名称
(令和8年5月下旬(予定)から運用開始)

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のかけ崩れや 土石流	高潮 海水面上昇や 波の打上げによる浸水
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
＜警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！＞				
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

河川氾濫・大雨に関する情報の改善

- 河川氾濫等に関する情報は、洪水予報河川のみを対象とした河川ごとの情報とし、「レベル3 氾濫警報」等の名称で発表します。これまでの気象台による市町村ごとの洪水警報・注意報の発表は行いません。
- 水位周知河川の氾濫危険情報等のレベル毎の水位の情報は、警戒レベルとの関係を含めてこれまで通りの運用とし、洪水予報河川への移行を促進します。
- 浸水害を対象とした大雨特別警報・警報・注意報は、大雨に関する情報として警戒レベル毎に整理し、警戒レベル相当情報として位置づけます。洪水予報河川以外の河川についても、大雨に関する情報の中で一緒に扱います。

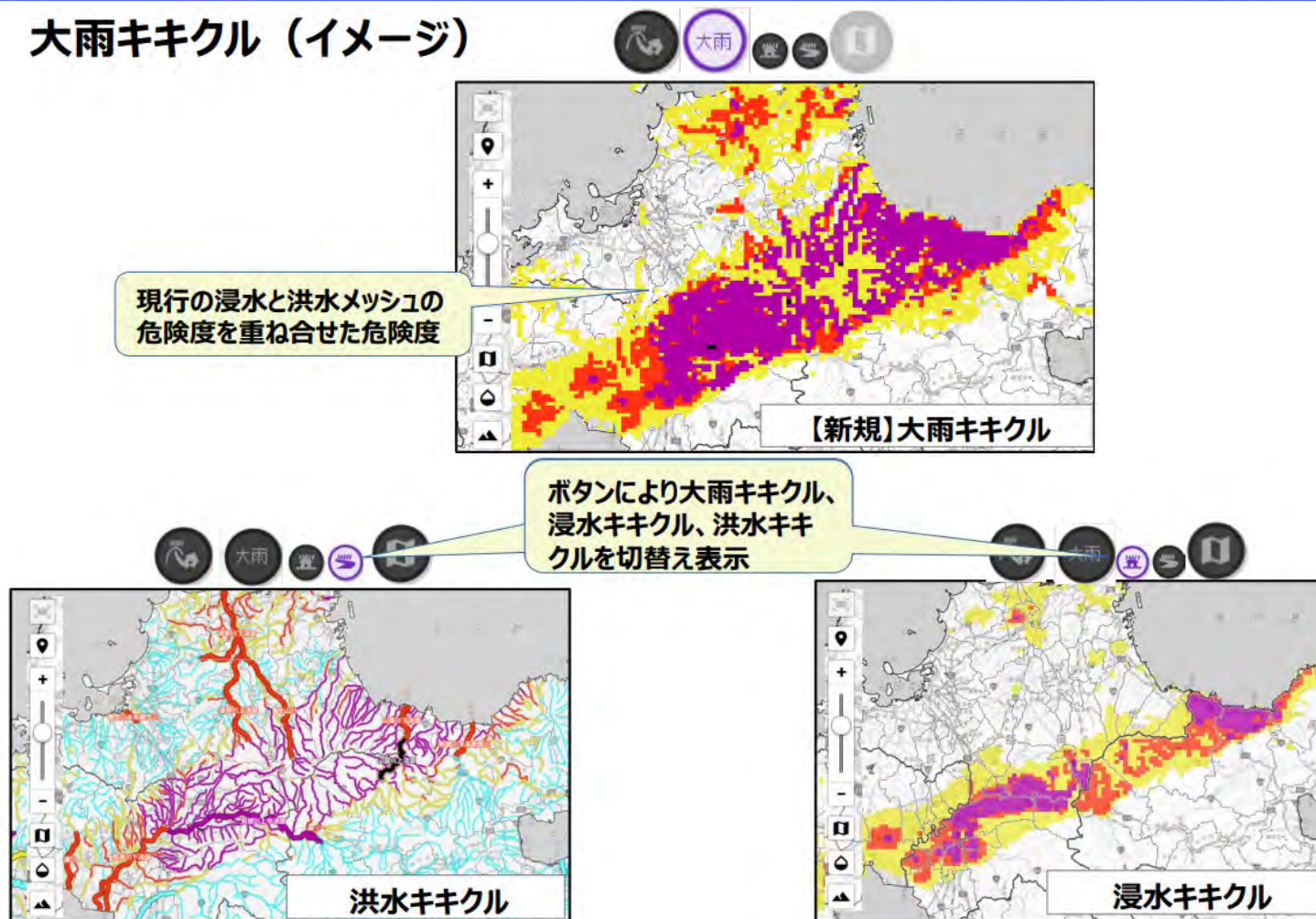
河川氾濫等に関する情報				
分類		洪水予報河川	水位周知河川	左記以外の河川も含む 洪水警報等
河川数		約400河川		大雨に関する情報で扱う。
発表主体		河川事務所または 都道府県と気象台		
発表単位		河川ごと		
対象とする 主な現象		外水氾濫		
発表指標		水位（実測・予測）		
情報 名称	5	レベル5 氾濫特別警報		
	4	レベル4 氾濫危険警報		
	3	レベル3 氾濫警報		
	2	レベル2 氾濫注意報		
	1	早期注意情報		
		〔 洪水予報河川への 移行を促進 〕		

大雨に に関する情報	
—	
気象台	
市町村ごと	
内水氾濫及び 洪水予報河川以外の外水氾濫	
表面雨量指数・流域雨量指数 （解析・予測）	
レベル5 大雨特別警報	
レベル4 大雨危険警報	
レベル3 大雨警報	
レベル2 大雨注意報	
早期注意情報	

大雨キキクルの新設

- 大雨に関する情報が発表された際に、危険度が高まっている地域を確認することができます。
- 大雨に関する情報が対象としている河川の氾濫の危険度（洪水キキクル）や短時間強雨による浸水害の危険度（浸水キキクル）を重ねて大雨キキクルとして新規表示します。
- 洪水キキクルと浸水キキクルについて切替え表示で、洪水災害・浸水害それぞれの危険度の確認が可能です。

大雨キキクル（イメージ）



気象防災速報・気象解説情報

- 警戒レベル相当情報やそれ以外の警報等を補足する情報として、線状降水帯など**顕著現象が発生または発生しつつある場合に「気象防災速報」を発表します。**
- 現在・今後の気象状況や災害発生の危険度の見通しなどを網羅的に解説する情報として、「気象解説情報」も適宜に発表します。

気象防災速報 …… 極端な現象を速報的に伝える情報（府県単位でのみ発表）



気象解説情報 …… 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報（全国・地方・府県単位で発表）



線状降水帯の予測精度向上に向けた取り組み（情報の改善）

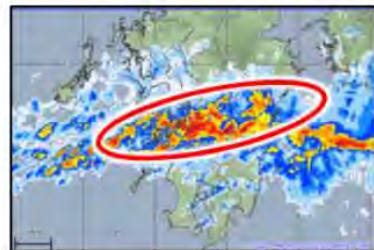
観測の強化、予測の強化により、線状降水帯に関する情報の段階的な改善を実施

- ・ **令和8年**から、**2～3時間前**を目標にした予測情報を提供予定
 - ・ **令和11年**から、半日前に**市町村単位**で線状降水帯発生の可能性が把握可能な分布形式の情報を提供予定
- 情報のリードタイムを伸ばし、また、情報の発表の対象地域を狭めることで、国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく

「迫りくる危険から直ちに避難」→情報のリードタイムをのばす

発生情報

令和3年	線状降水帯の発生をお知らせする情報
令和5年	最大 30分 程度前倒し



線状降水帯の雨域を楕円で表示

2～3時間前予測

令和8年
2～3時間前を目標に
予測情報を発表



イメージ

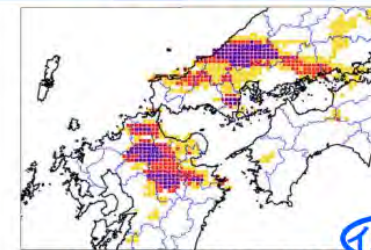
補足情報として、線状降水帯による大雨の恐れがある大まかな領域を図情報で表示（予定）

半日前予測

令和4年	地方単位 で予測
令和6年	府県単位 で予測

↓ さらに**対象地域を狭める**

令和11年
市町村単位で把握可能な危険度分布形式の情報を提供



イメージ

線状降水帯発生の可能性が把握可能な分布形式で表示（予定）

福岡県

福岡県 防災企画課

■ 防災意識の啓発

子どもや高齢者、外国人など、ターゲットを絞った防災意識の向上

福岡県では、きめ細かく意識啓発を進めるため、子どもや高齢者、外国人など、ターゲットを絞った防災意識の向上を図っています。

(1) ふくおか県政出前講座

県民の皆様からの要望に応じて実施

(2) 高齢者向け防災パンフレット

シニア世代の防災の手引きを
老人クラブや公民館等に配布

(3) 外国人向け防災ハンドブック・リーフレット

外国人向けの防災ハンドブック等を
観光案内所や宿舎・ホテル等に配布

(4) 防災教育副読本

小学校の防災教育で使用する防災教育副読本を
県内全小学校に配布

※(2)～(4)は福岡県防災ホームページに
掲載(ダウンロード可)



■ 防災情報の効果的な配信

防災アプリ「ふくおか防災ナビ・まもるくん」による防災情報の配信

気象情報や避難情報等が簡単に確認できる防災アプリ

- 全国のどこにいても、今いる場所や登録した場所の防災情報をプッシュ通知
- 避難所の情報を地図上で表示
- 県内の避難所は、開設・混雑情報も表示
- 普段からの備えや、いざというときの行動を、イラストでわかりやすくお知らせ
- 大きな文字とシンプルな画面で、操作も簡単



地域防災力の向上を目的とし、自主防災組織で活動する防災士を養成

防災士の資格取得に必要な養成研修を県で実施。
また、資格保有者向けのスキルアップ研修を実施し、地域防災活動を支援。

- (1) 防災士養成研修
令和7年10月～11月
県内3ブロック
(福岡ブロック:2回 北九州、筑後ブロック:各1回)
- (2) スキルアップ研修
令和8年3月
(福岡県消防学校 理論編1回、実技編2回)



資格取得後(研修受講後)「人材リスト」を作成。
市町村とも情報共有し、人材を活用。

地域防災力の向上を目的とし、自主防災組織で活動する防災士を養成

防災士の資格取得に必要な養成研修を県で実施。
また、資格保有者向けのスキルアップ研修を実施し、地域防災活動を支援。

- (1) 防災士養成研修
令和8年10月～11月(予定)
県内3ブロック
(福岡ブロック:2回 北九州、筑後ブロック:各1回)
- (2) スキルアップ研修(予定)
令和9年3月(予定)
(福岡県消防学校 理論編1回、実技編2回)



資格取得後(研修受講後)「人材リスト」を作成。
市町村とも情報共有し、人材を活用。

■個別避難計画作成促進事業

個別避難計画の作成率が低い市町村の計画作成への理解向上及び避難支援者の確保等に取り組み、全市町村の個別避難計画作成率が100%に近づくよう支援する。

① 避難支援者の確保の支援

市町村職員、福祉専門職(介護支援専門員、相談支援専門員等)、地域住民(民生委員、自主防災組織、消防団、自治会等)を対象として、個別避難計画作成のための基本的な知識の習得や福祉専門職、地域住民が参画することの重要性等について研修の実施等を通じ、避難支援者の候補者を確保。

② 協議会等の設置の支援

市町村防災部局と福祉部局、福祉専門職、地域住民間による連携体制を構築し、計画手順書の作成に向け協議する場を設置。

③ 計画手順書の作成の支援

協議会等において作成。(計画手順書のひな形は県が作成。)

④ 個別避難計画の作成の支援

協議会等の関係者が、避難行動要支援者ごとの計画を作成。

⑤ 個別避難計画の検証の支援

計画の実効性を確保するため、避難訓練を実施し、検証。

福岡県 河川管理課

福岡県 河川管理課

令和7年度までの取組み

1. 福岡県の防災情報について

防災情報を提供することで、住民の適切な避難行動につなげます。

○ 洪水浸水想定区域

令和6年6月に作成を要する県内全ての河川を指定済みです。

指定河川数 333河川

年度	H30	R1		R4	R5	R6	合計
指定河川数	31	10	〰	222	68	2	333

※ 平成30,31年度の指定は平成27年の水防法改正に伴うもの

※ 令和4～6年度の指定は令和3年の水防法改正に伴うもの



山国側水系黒川_令和5年5月指定

○ 危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ

令和5年度にて、計画した箇所の新設は完了。

今後は浸水被害等の状況に応じ、関係者と協議の上、新設箇所を検討する。

危機管理型水位計 123箇所 / 簡易型河川監視カメラ 185箇所

設置年度	～平成29年	平成30年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	合計
危機管理型 水位計		80	14	16	3	8	1	1	123
簡易型河川 監視カメラ	14	7	41	35	44	40	2	2	185



危機管理型水位計の設置事例
桂川(朝倉市内)

2. 福岡県総合防災情報について

河川の水位、土砂災害危険度、道路の通行規制などの防災に関する情報を確認できます。

パソコン版

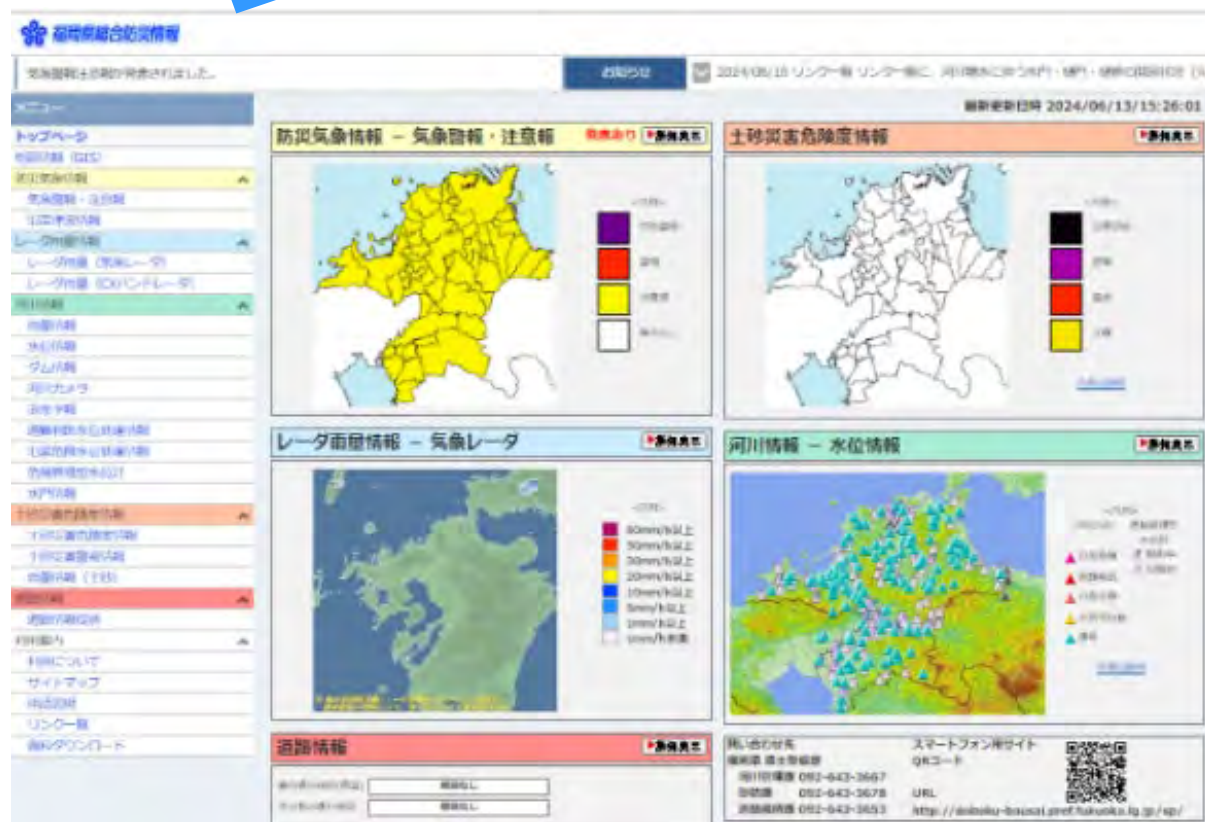
より詳細な情報を収集できます

福岡県総合防災情報 検 索

スマートフォン版

手軽に情報を収集できる

スマホ版 二次元バーコード



3. 防災情報の広報について

福岡県が発信する防災情報について、各種方法で広く広報を行っております。

○ ふくおか県政出前講座

『かわとひととの関わり』

河川法の目的とする治水、利水、環境に配慮した川づくりの話のほか、防災や住民との協働などの取組について説明しました。

開催日 令和 7 年 9 月 2 7 日 日佐公民館（福岡市南区）

出席者 地域の皆さま 33 名



○ 「かわ」 福岡県河川協会 河川情報紙

『風水害から自らの命を守るために
－自助行動のすすめ－』

避難する時のポイントや防災情報の
入手方法について掲載しました。

掲載号 vol269 (R8.4) p.1～2

配布先 県の出先事務所、市町村 他



4. 要配慮者利用施設避難確保計画作成の支援について

令和3年の水防法改正に伴い、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成 及び避難訓練実施の報告が義務化されました。

福岡県の作成率は76.8%（令和7年9月末時点）と、全国平均に比べ低くなっています。

○ 講習会の開催

要配慮者利用施設の関係者を対象とした講習会を開催。
関係課と協力し、災害におけるリスクを紹介するとともに、
開催市町村において作成方法の説明を行っています。

開催実績

開催年度	開催市町村
令和7年度	北九州市
令和6年度	
令和5年度	北九州市、みやま市
令和4年度	豊前市
令和3年度	福岡市、久留米市、大野城市

年4回、県内の市町村へ開催の照会を実施。
避難確保計画作成の向上につなげたい。



○講習会の講義及び事前準備の役割分担について

講義内容	役割分担
開会・閉会のあいさつ、司会	市町村
講習会の開催目的について	県
水害リスクについて	県（河川）
水害リスクについて（高潮）	県（港湾）
土砂災害リスクについて	県（砂防）
気象情報について	気象台
地域における災害時の防災情報の伝達について	市町村
避難確保計画の作成方法について	市町村
今後の予定	市町村
事前準備	役割分担
日程調整、気象台・県港湾課、砂防課との調整	県
会場確保	市町村
対象施設一覧作成、開催通知	市町村
会議資料作成（※おおよその雛形はあります。）	各機関
資料印刷	市町村・県

大分県

大分県 防災対策企画課

■マイ・タイムラインの作成、地域の訓練支援

○ソフト対策としてマイ・タイムラインの活用、住民主体の訓練への支援により被害の軽減を図る。

地域の訓練支援（避難させ隊）

【避難させ隊の事業概要】

- ・ 地元の団体（NPO、防災士会）、住民主体の訓練への支援
 - 地元NPOや防災士会、住民による「**地域特性に即した防災訓練**」
 - 地域コミュニティ主体の継続性のある「**地域に根ざした防災活動**」
- ・ メンバー 地元団体、NPO、市町村、県

(ステップ1) 地域課題等の意見交換

地域の課題や解決のための対策について意見交換を行う

(ステップ2) 防災学習会、訓練計画作成

・ 防災知識を深めるため、学習会を行う
・ 地域課題を踏まえた訓練計画の作成

(ステップ3) DIG(災害図上訓練)等

・ 図上訓練によるイメージの共有
・ 役割分担等の整理
・ 訓練に向けた最終打ち合わせ

(ステップ4) 避難訓練実施

・ 地域特性に応じた避難訓練
・ 地域課題を踏まえた防災訓練（避難所運営訓練など）
・ 次回訓練に向けた講評、反省会など

地域防災力強化のサイクル

防災

おおいたマイ・タイムラインシート

おおいたマイ・タイムライン ～わが家の避難計画～ Ver.3(R3.5.20改訂)

警戒レベルと警戒レベル相当情報(防災気象情報)

警戒レベル1 早期注意情報 (気象庁が発表) 今後、気象状況悪化のおそれあり	警戒レベル2 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発表) 気象状況が悪化	警戒レベル3 高齢者等避難 (市町村が発令) 災害のおそれあり	警戒レベル4 避難指示 (市町村が発令) 災害のおそれが高まっている	警戒レベル5 緊急安全確保 (市町村が発令) 災害発生または切迫
—	氾濫注意情報	警戒レベル3相当情報 大雨・洪水警報 氾濫警戒情報	警戒レベル4相当情報 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮警報	警戒レベル5相当情報 大雨特別警報 氾濫発生情報 高潮氾濫発生情報

警戒レベルに応じた家族の行動

災害への心構えを高める	自分や家族の避難行動を確認	高齢者等は危険な場所から避難	危険な場所から全員避難	命の危険、直ちに安全確保
○避難先や避難経路を再確認する ○非常持出袋の中身を再確認する ○家族の予定を確認する ○持病薬や特訓に応じた薬を準備する ○震で飛ばされやすい物を屋内に片付ける	○ハザードマップの確認 ○携帯電話の充電を完了しておく ○家族の予定を確認する ○家の扉、戸を閉める ○お母さんに、避難する可能性があることを連絡する ○定ガラスにガムテープを貼っておく	わが家の避難スイッチ！ 警戒レベル3発令後に必ず避難する！！ ○避難経路の状況を確認 ○火の元、戸締まりを確認 ○近所に住んでいる一人暮らしのおばあちゃんに声かけしながら、非常持出袋を持って、おばあさんの家に避難開始！	○おばあさんの家に家族全員が避難完了！ ○気象情報を確認する ○おばあさんの家が危険な状況になりそうな場合は、大分公民館へ避難する ※避難した方が危険な場合は、そのおばあさんの家で避難を続ける ○テレビやラジオで気象情報をチェックする	全員避難完了！ △ 自宅内の安全な場所へ避難 △ 2階以上に避難

日頃から調べておくこと、備えておくこと

わが家の災害リスク・避難先 □ 浸水する深さ 想定 (1) m □ 近隣河川までの距離 □ 土砂災害警戒区域に入っている (いる / いない) □ 避難先① (お母さんの家) まで、徒歩 (車) で (10) 分 □ 避難先② (大分公民館) まで、徒歩 (車) で (7) 分 ※ 自宅が危険な地域ではない場合や、マンションなど頑丈な建物の場合は、屋内待機や垂直避難 (建物内の2階以上) □ 避難先までの危険な場所・特徴 (避難先①道路が狭い 避難先②長い階段がある、街灯が少ない)	非常持出品 □ 懐中電灯 □ モ巾 □ 携帯電話の充電器 □ マスク □ アルコール消毒液 □ 体温計 □ ハザードマップ ※ 忘れてませんか？ □ 常備薬 □ お薬手帳 □ その他に準備する物も書いておこう！ 紙オムツ 生理用品 ドッグフード ビニール手袋 タオル ウェットティッシュ	情報収集ツール □ アプリ □ 県民女王・女心メール □ 市町村防災メール □ テレビ □ 防災ラジオ □ 大分地方気象台HP □ おおいた防災ポータル
---	--	--

■ おおいた防災VR等を活用した住民の防災意識の醸成

○ おおいた防災VRや防災啓発動画などの活用により住民の防災意識の醸成を図る。

おおいた防災VR

【事業目的】

防災意識の醸成、早期避難の促進

【制作コンテンツ】

地震編、津波編、土砂災害編(R1)

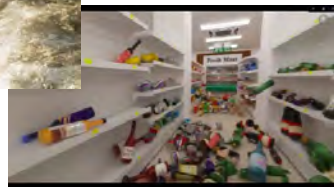
洪水・浸水害編、台風編(R2)

【運用方法】

学校や地域の防災訓練等で活用

県振興局等で視聴用ゴーグルを貸出

「YouTube」で全編公開



防災啓発動画

【事業目的】

個人や世帯単位の啓発、防災の日常化

【制作コンテンツ】

おおいた防災アプリ(カップル編、ギャル編)(R5)

啓発動画 キニナル犬シリーズ(R6)

【運用方法】

「YouTube」で全編公開

テレビCM及びSNS広告



大分県 河川課

令和8年度も継続

◆防災士養成研修の講師派遣(主催:大分県防災局)

県内10箇所において、地域の防災力向上のため、自主防災組織活動の要となる防災士の養成研修へ河川課と砂防課から講師を派遣し「水害対策について」等について講演を行いました。

令和7年度 大分県防災士養成研修

	開催会場	日程	対象市町村	場所	受講者数
1	県庁	8月20日(水)、25日(月)	県職員等	県庁本館2階正庁ホール	58
2	中津市	9月20日(土)、21日(日)	中津市、宇佐市 豊後高田市	中津市本庁大会議室	77
3	佐伯市	9月27日(土)、28日(日)	佐伯市、津久見市 臼杵市	佐伯市消防本部	58
	県社協	10月1日(水)、10月22日(水)、 11月11日(火)	県内福祉施設職員	大分県総合社会福祉会館 4階大ホール	46
	県教委	10月6日(月)、7日(火)	県立学校教職員	大分県教育センター	59
4	豊後大野市	10月25日(土)、26日(日)	竹田市、豊後大野市	豊後大野市立大野公民館	42
5	別府市	11月8日(土)、9日(日)	別府市、由布市	別府市役所1階 レセプションホール	50
6	大分市	11月29日(土)、30日(日)	大分市	大分市役所 別館6F 多目的大会議室	116
7	日田市	12月6日(土)、7日(日)	日田市、玖珠町 九重町	日田市役所7階大会議室	51
8	日出町	12月13日(土)、14日(日)	杵築市、国東市 日出町、姫島村	日出町保健福祉センター	53
	合計				610



令和8年度も継続

◆消防学校へ講師派遣

- ・令和7年7月2日(木) 大分県消防学校
 - 新たに採用された消防職員に対し河川課と砂防課から講師を派遣し防災について講演を行いました。



◆その他 研修等講師派遣

＜土木未来教室＞(中津土木事務所より)

- ・令和8年1月23日(金) 大分県立中津東高校
 - 土木科1年生を対象とした現地学習のため中津土木事務所から講師を派遣し、急傾斜地崩壊対策事業による人家の保全効果等を勉強しました。



○災害の危険性が見える化により、洪水等からの逃げ遅れが無いよう、適切な避難行動を促進

①中小河川等洪水時ハザードマップ作成支援

☑頻発する豪雨災害に対応するため、洪水浸水想定区域図の作成対象を中小河川（県管理河川）まで拡充し令和7年度までに作成



※背後に家屋等がある河川が対象
河川数は市村との協議により変更の可能性あり

○洪水浸水想定区域図を基に市町がハザードマップを作成（R8まで）
中小河川等洪水時避難行動支援事業を創設し作成費用を補助

【浸水想定区域図作成スケジュール】

R5年度	R6年度	R7年度
・豊後高田市	・杵築市	・佐伯市
・国東市	・臼杵市	・豊後大野市
・別府市	・津久見市	・大分市
・日出町	・九重町	
・由布市	・日田市	
・玖珠町	・中津市	
・竹田市	・宇佐市	

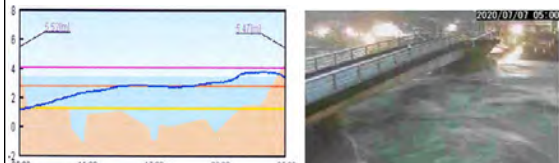
<効果> 中小河川等での住民の避難体制を構築

②中小河川等への水位計・河川カメラ増設

☑住民の避難行動を促すための視覚情報を充実するため、従前の大規模河川等に加え、中小河川等へも水位計・カメラを増設

考え方 ☑過去に浸水実績のある河川
⇒浸水実績のある河川については、ハザードマップに加え、視覚情報を用いて、より緊迫感を持って避難行動を促す

◆水位計：既設127基 + 増設24基 = 計各151基設置（R3済）
◆カメラ：既設 82基 + 増設69基



（県HPや防災アプリ等で視覚情報を発信）

<効果>
視覚情報等の提供により、適切な避難行動を促進

③河川砂防情報システムの機能強化

課題 ・豪雨時のアクセス集中時に処理能力以上のアクセスがあることによってサーバーダウンや、画面表示が遅くなることが発生
・県庁のシステムが故障した場合に、雨量や河川水位の情報発信ができなくなることが発生

○外部への情報提供機能をクラウド化することによって、アクセス集中時と、県庁のシステム故障時でも雨量や河川水位の情報発信を継続

洪水時危機管理体制強化事業（量水標の設置）

【現状と課題】

- ◆気候変動の影響に伴い頻発・激甚化する豪雨災害
- ◆R5災害では18河川で氾濫が発生、5基の水位計が欠測となった
- ◆紙媒体の河川管理資料の確認には手間と時間がかかる



- 避難情報を確実に伝達する洪水危険度の更なる見える化が必要
- 県民一人一人の自主的な避難行動に繋げるための啓発も重要
- 新しい技術を活用し、河川管理体制の強化を図る

危機管理体制の
強化が急務

■量水標の設置による危険度の可視化

- ☑ 浸水被害により重大な被害を生じるおそれがある河川において、量水標を設置
- ☑ 河川監視カメラで水位の危険度を確認でき、避難行動の判断基準となる

〔対象箇所〕 河川監視カメラを設置している **79か所を3年間(R6～R8)**で整備

危険度が視覚的にわかることで、**迅速な避難行動に繋がる**



〔現状〕



〔設置後(通常時)〕



〔設置後(増水時)〕

(効果)

- ・河川監視カメラや目視で水位の確認が可能
- ・平常時における周辺住民の危機意識の醸成



水位計故障時
水位の確認不可
量水標があれば...



設置イメージ

取組
方針

わかりやすい河川情報の提供により、県民の危機管理意識を醸成、水災害からの回避を図る

中 津 市

1. 山国川水防演習の実施

● 概要

- ・記録的な大雨により山国川が氾濫したという想定で、各機関合同の水防演習を実施。
- ・水防意識の高揚、水防体制の強化を図った。

<日時>

令和7年6月1日（日）午前9時30分～

<場所>

中津市耶馬溪町大字柿坂（山国川中津留橋下流右岸河川敷）

<参加機関>

中津市、国土交通省山国川河川事務所、陸上自衛隊別府駐屯地、大分県中津警察署、大分県防災航空隊、中津市消防本部、中津市消防団（水防団）、山国川災害協定会社、九州防災エキスパート会、中津市食生活改善推進協議会耶馬溪支部

<演習項目>

- 積み土のう工 …（中津市水防団）
- 大型土のう投入工 …（山国川河川事務所、九州防災エキスパート会、山国川災害協定会社）
- せき板工 …（山国川河川事務所、九州防災エキスパート会、山国川災害協定会社）
- 水難救助訓練 …（中津警察署、大分県防災航空隊、中津市消防本部）
- 炊き出し訓練 …（陸上自衛隊別府駐屯地、中津市食生活改善推進協議会耶馬溪支部）



2. 外国人のための防災バスツアーの実施

● 概要

- ・市内在住の外国人を対象とした、過去の被災箇所や中津市の観光名所を巡るバスツアーを実施。
- ・災害の危険性や中津市の魅力を周知する機会となった。

<日時>

令和7年12月14日（日）午前9時～

<場所>

一目八景展望台、耶馬溪ダム、耶馬溪橋、青の洞門 等

<協力機関>

国土交通省山国川河川事務所、中津市防災士協議会

<参加者（外国人）>

21名

<事業費>

B & G財団の支援金を100%充当



3. なかつメールの多言語配信

● 概要

増加傾向にある外国人在住者に対する、防災情報の伝達手段の確保のため、防災情報等をメールとLINEで配信している「なかつメール」の多言語化を実施し、外国人在住者への情報伝達手段の拡充を図った。

<追加機能>

・言語追加

英語、中国語（簡体字）、韓国語、インドネシア語、ベトナム語、タガログ語、ミャンマー語

・自動翻訳

日本語で入力後、ボタンを押すだけで自動翻訳し配信。

・Jアラート連携配信

Jアラートと連携し、人の手を介することなく自動翻訳配信。

<期待される効果>

外国人在住者の方々が、より防災情報等を収集しやすくなり、防災意識の向上にもつながることが期待される。

日本語選択者



英語選択者



≪メール受信イメージ≫

4. 津波避難ビル看板の更新

● 概要

津波発生の際に、緊急避難を行う津波等避難ビルの看板について、老朽化した看板の更新(11箇所)に加えて、未設置の津波避難ビルに看板の新設(8箇所)を行った。

<背景>

設置から10年経過したものもあり、老朽化が進んでいるとともに、未設置の箇所もあったことから、機能拡充を図ったうえで更新・新設を決定。

<拡充内容>

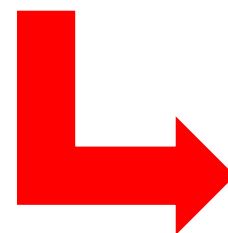
- ・表示内容の多言語化
英語、中国語(簡体字)、韓国語、インドネシア語、ベトナム語)
- ・二次元バーコードの印字(防災ポータルサイト及びWEB版防災マップへの誘導)
- ・夜間停電に備えた蓄光仕上げ

<期待される効果>

多言語化により、増加傾向にある外国人に対する避難誘導が期待される。また、蓄光仕上げもあわせて行うことにより、夜間停電時における視認性の向上が期待される。



現行の看板



●. 洪水ハザードマップの作成

● 概要

中小河川の浸水想定区域をもとに、中津市内の洪水ハザードマップを作成し、住民に配布した。

<背景>

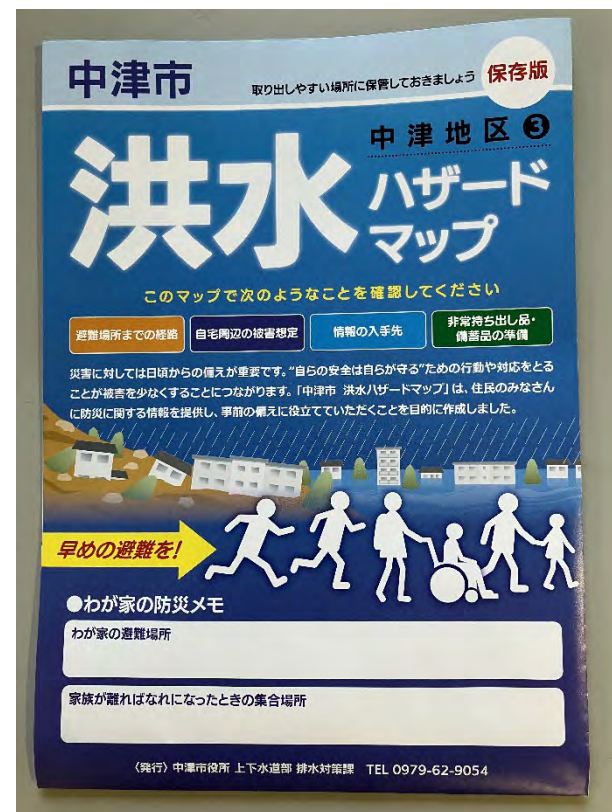
近年、激甚化・頻発化している水害により令和3年に水防法が一部改正され、中小河川まで洪水浸水想定区域の指定対象に追加された。これに伴い、令和6年度に大分県が洪水浸水想定区域(大分県が管理する中津市内の河川)を指定したことをうけ、中津市において洪水ハザードマップを作成し、住民に配布した。

<内容>

- ・市内を15地区に分割し、マップを作成
中津地域：3面、三光地域：2面、本耶馬溪地域：2面、
耶馬溪地域：5面、山国地域：3面

<期待される効果>

洪水ハザードマップの作成・配布により、住民が洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保し、水害による被害軽減を図れる。



1. 告知放送戸別受信機の交換

● 概要

旧下毛地域の各家庭に設置をしている告知放送戸別受信機を新型へと交換を行う。

<背景>

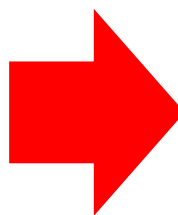
- 旧下毛地区に整備をしている告知放送戸別受信機が製造中止となったため、令和5年度より5箇年で3,000台の新型受信機を計画的に導入している。
- 現状は、故障が発生した端末から随時交換を行っているが、令和8年度からは全端末を対象として、計画的な更新を行う。

<期待される効果>

老朽化による故障や受信トラブルを未然に防ぎ、災害時における情報の伝達能力を一層向上させ、地域の安全・安心な情報伝達体制の強化が期待される。



旧型



新型

吉 富 町

○広報紙やホームページでの防災情報の提供

令和7年7月 水辺で乾杯！in吉富町
9月 吉富海岸清掃ボランティア活動
～このまちといきる ヨシトミライ～
11月 つながる防災プロジェクト

水辺で乾杯！in吉富町

～ふるさとをいつまでも綺麗に残したい～



水辺で乾杯！in吉富町

大塚ワイルドベディンク競技場よりボカリスエット10コースのご観戦をいただきました。

好評で終わった「ミズベディンクin吉富町」は、こどもたちのたくさんの笑顔であふれていました。ふるさとをいつまでも綺麗に残したい…。故郷を思う気持ちがカタチになった7月6日の夕方、たくさんの方々が河川敷に集まり、ごみ拾いが始まりました。夜の河川敷には、キッチンカーなどの美味しいグルメの出店がずらり。氷彫刻パフォーマンスでは目の前で繰り広げられる芸術に喝采が上がり、夜のクライマックスの「ナイト・パブル・ショー」では、シャボン玉が舞う幻想的な瞬間にこどもたちの歓声が河川敷いっぱいになりました。川を綺麗にし、笑顔で乾杯する。ふるさとを大切に思う愛情はいつまでもこどもたちに伝えていきたい…。来年も、皆さまに河川敷でお会いできることを楽しみにしています。

吉富海岸清掃ボランティア活動

～このまちといきる ヨシトミライ～



吉富海岸清掃ボランティア活動

～このまちといきる ヨシトミライ～

今年で25回を迎えた吉富海岸清掃活動。今年は「ワールドクリーンアップデー」および「SDGｓ週間」に合わせて、9月28日（土）に開催しました。小さな子どもたちから高齢の方まで、世代を超え方々にご参加いただきました。見えないほど美しくなりました。見えないほど美しくなりました。見えないほど美しくなりました。

終了後には、こどもたちによる「ワミドリ」を河川敷に植えるイベントも行われ、吉富中学校美術部の皆さんがデザインした大きな防波堤の絵が描かれたワミドリも、その野やなな色は、未来へつなぐ希望の象徴とも言えるものでした。子どもたちも自然と熱れ合っている。海について考えるきっかけとなるような活動は、海岸清掃の持つ意義をさらに豊かに広げてくれました。



つながる防災プロジェクト

2025.11.16

吉富フォーユー会館駐車場
吉富町防災避難訓練 午前9時～11時30分予定

対象 全町民 想定「大震・洪水」 避難場所 吉富フォーユー会館
個人で避難場所を確認します。
備えることで自分や家族のいのちを守ることに繋がります。

11時～15時30分 吉富町防災マルシェ

見て聞いて体験して防災を楽しく学ぼう！

はたらくまが やってくる！
放水もするよ！
消防署放水車展示
デモンストラーション

子ども用防火服展示

水筒型手洗いスタンド「WOSH」

手洗いスタンド「WOSH」は、使用した水の98%以上を、その場で循環。水資源のない場所にも、らくらく設置できます！

みんなで準備する
・緊急対策ブース
・防災用品展示
・消防ワークショップ
・親子防災教室

ポンパレもくもくもよ！
遊びに来よう！

問合せ 未来まちづくり課 24-1122

○テレビを活用した情報発信の強化

<KBCテレビとの連携(dボタン)による情報発信>

(内容) 九州朝日放送(KBC)と契約し、テレビからの情報発信を実施している。
(導入メリット)

- ・高齢者等に大事な情報が届けられます。
- ・広報紙を読まない層やスマホを使用しない層への情報発信が可能となります。
- ・自治体の「今」伝えたいに応えます。
- ・情報の文字化を図ることができます。

○つながる防災プロジェクト(避難訓練・防災マルシェ)の開催

(概要)

地震や大雨による災害が頻発し、全国各地で多くの被害が発生している現状を踏まえて町地域防災計画に基づき、日ごろから災害に備え、地域住民、自主防災組織、事業所、行政、防災関係機関が連携して地域防災体制の強化を図り、災害発生時の被害を最小限にとどめるために、住民参加の実動型避難訓練を実施する。また、若者や子育て世代の参加を促す為、マルシェを同時開催することとし、「楽しみながら学べる場」を提供する。

・開催日 令和7年11月16日(日)

・参加機関

- ①吉富町 ②吉富町消防団 ③町内自主防災組織 ④よしとみレディース ⑤吉富小学校
⑥京築広域圏消防本部 ⑦豊前消防署東部分署 ⑧豊前警察署 ⑨国土交通省山国川河川事務所
⑩陸上自衛隊小倉駐屯地 ⑪航空自衛隊築城基地 ⑫NTT西日本 ⑬田辺三菱製薬工場(株)
⑭一般住民 ⑮福岡管区気象台 ⑯T-DRT(防災ボランティア団体) ⑰(株)ミヨシ
⑱愛知ポンプ工業(株) ⑲日本乾溜工業(株) ⑳公益財団法人日本公衆電話会

令和7年度は、初めて会場をフォーユー会館とし、防災マルシェを同時開催した。



避難場所 吉富フォーユー会館



同時開催の防災マルシェ



放水体験などを通じて、
防災意識向上を図った

○シープラス+教室の開催

(概要)

小学生及び保護者に対して、町の環境政策や地域コミュニティの重要性を伝え、日々の行動変容につなげたり、環境意識の高い町としてのシビックプライドを醸成する。

(取組み内容)

海岸清掃・上下水道課によるミニ講義・ペットボトルキャップを用いたアクセサリ作成(アップサイクル)

・開催日 令和7年 12月6日(土)

・参加者 小学生及び保護者

シープラス+教室による海岸清掃



○広報紙等を活用した防災情報の提供

（内容）

出水期や台風シーズン前などに、町広報紙を活用して防災情報を提供し、町民の防災意識の向上を図り、災害への備えの注意喚起を行う。

○KBCテレビとの連携(dボタン)による情報発信の強化

（内容）

九州朝日放送(KBC)と契約し、テレビからの情報発信を実施している。

（導入メリット）

- ・高齢者等に大事な情報が届けられます。
- ・広報紙を読まない層やスマホを使用しない層への情報発信が可能となります。
- ・自治体の「今」伝えたいに応えます。
- ・情報の文字化を図ることができます。

○防災避難訓練（令和8年11月15日実施予定）

（内容）

近年、災害はいつどこで発生してもおかしくないため、さまざまな状況を想定したより実効性の高い訓練の実施を予定。

（令和7年度実績）

参加者数：447名

参加機関：①吉富町 ②吉富町消防団 ③町内自主防災組織 ④よしとみレディース
⑤吉富小学校 ⑥京築広域圏消防本部 ⑦豊前消防署東部分署
⑧豊前警察署 ⑨国土交通省山国川河川事務所
⑩陸上自衛隊小倉駐屯地 ⑪航空自衛隊築城基地 ⑫NTT西日本
⑬田辺三菱製薬工場(株) ⑭一般住民 ⑮福岡管区气象台
⑯T-DRT(防災ボランティア団体) ⑰(株)ミヨシ
⑱愛知ポンプ工業(株) ⑲日本乾溜工業(株)
⑳公益財団法人日本公衆電話会

上 毛 町

① 上毛町水防センター完成

唐原地区河川防災ステーション内に
「上毛町水防センター」が完成

○施設概要

水害等の災害に備え、防災物資・資材の
備蓄を行うとともに、災害時における情報
収集及び水防団活動の拠点として使用。

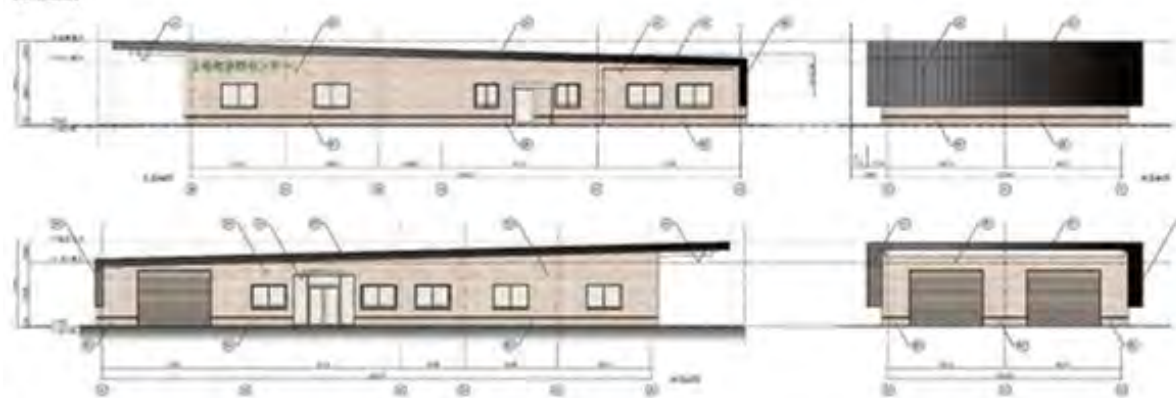
○施設構造

鉄骨造平屋建 約390㎡ (13m×30m)
会議室、倉庫、シャワー室、給湯室、トイレ
(男子・女子・多目的)、エントランスホール、
ピロティ

○運用開始時期

令和8年6月予定

【立面図】



【平面図】



② 広報誌による周知・啓発

町広報誌6月号で防災特集ページを掲載

(内容)

○気象庁が配信する「土砂災害」「洪水災害」「浸水害」危険度分布(キキクル)の説明及び情報の活用に係る周知

○避難情報(警戒レベル)により町民が取るべき行動や、防災情報の取得方法等を紹介



③ 防災講座の開催

福岡管区気象台の防災気象官を講師として招き、町内住民を対象とした防災講座を開催。

(内容)

- 民生委員・自治会長等が多数参加。
- 気象情報の活用方法について学習。
- 災害時に取るべき行動の確認。



④ 小学校での防災授業の開催

9月3日

町立西吉富小学校で防災授業を開催

(内容)

- 4年生14名を対象に実施。
- 防災マップを使った避難経路の確認。
- 災害時に取るべき行動の確認。



9月17日

避難所(げんきの杜)見学を開催

(内容)

- 西吉富小学校4年生14名を対象に実施。
- 避難所での生活について体験
- 防災備蓄品の展示



上毛町

令和8年度取組予定

① 水防センターの運用開始【新規取組】

- ・唐原地区河川防災ステーション内に完成した「上毛町水防センター」を運用開始。
- ・災害時：水防団の待機場所、水防資材や防災備蓄品の保管倉庫。
- ・平常時：小中学校の防災学習や、地域のコミュニティ活動での利用に活用。

② 広報誌等による周知・啓発【継続取組】

出水期を前に、町広報誌6月号で防災特集ページを掲載。

③ 小学校での防災授業の開催【継続取組】

町内小学校を対象とした防災授業を開催予定。

④ 防災講座の開催【継続取組】

福岡管区气象台と協力し、町内住民を対象とした防災講座を開催予定。

⑤ 防災士資格取得の推進【継続取組】

県が実施する防災士養成研修等を活用し、地域の自主防災組織の中心となるべき人材を増やす。

令和8年度 山国川圏域大規模氾濫減災協議会

(4)その他(情報提供)

令和8年5月27日

山国川河川事務所からの情報提供

R7気象業務法・水防法改正について
(**5月29日**以降の洪水に関する情報)

R7 気象業務法・水防法の改正に係るポイント

～ 洪水予測の業務に関するもの ～

(1) 氾濫特別警報(洪水の特別警報)の創設

気象業務法第13条の2

- ⇒ 氾濫特別警報は洪水予報河川について発表
- ⇒ 洪水予報河川の情報名称が「〇〇警報や〇〇注意報」に
(水位周知河川の情報名称は、引き続き「〇〇情報」のまま)
- ⇒ 情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表
(レベルの数字で、とるべき防災行動が分かる！)

(2) 氾濫等の通報制度の創設

水防法第24条の2

- ⇒ 河川の氾濫による著しい危険が切迫した状態にあることを通報
(氾濫事実の確認後だけでなく、切迫状態についても)
- ⇒ 氾濫発生情報 や 氾濫特別警報 の発表に活用

情報名称の変更

- 令和7年の法改正及び防災気象情報の見直しに伴い、令和8年出水期から以下の通り用語が変更となります。

	基準水位			洪水予報河川			水位周知河川	
	令和7年度まで	令和8年度から		令和7年度まで	令和8年度から		令和7年度まで	令和8年度から
警戒レベル5 相当情報	氾濫する可能性 のある水位 (氾濫開始水位)	氾濫発生水位 (氾濫開始水位)		氾濫発生情報	レベル5 氾濫特別警報 ／ レベル5 氾濫発生情報		氾濫発生情報	レベル5 氾濫発生情報
警戒レベル4 相当情報	氾濫危険水位 (危険水位)	氾濫危険水位 (危険水位)		氾濫危険情報	レベル4 氾濫危険警報		氾濫危険情報	レベル4 氾濫危険情報
警戒レベル3 相当情報	避難判断水位	避難判断水位		氾濫警戒情報	レベル3 氾濫警報		氾濫警戒情報	レベル3 氾濫警戒情報
警戒レベル2 相当情報	氾濫注意水位	氾濫注意水位		氾濫注意情報	レベル2 氾濫注意報		氾濫注意情報	レベル2 氾濫注意情報

河川氾濫・大雨に関する情報（今後の運用）

- 令和8年5月下旬から、河川の氾濫に関する情報は、警戒レベルとの関係から以下ようになります。
- 例えば、市町村長が避難指示発令を判断する警戒レベル4相当の情報は、
 - ＜洪水予報河川＞ レベル4氾濫危険警報①等の相当情報を参照（氾濫危険情報から名称変更）
 - ＜水位周知河川＞ レベル4氾濫危険情報②等の相当情報を参照（レベル表記を追加）
- ※河川の情報が入手できない場合などにレベル4大雨危険警報③を参照
- ＜その他河川(上記以外)＞ レベル4大雨危険警報③等を参照（洪水警報が大雨警報へ統合）
- 氾濫通報に基づくレベル5氾濫発生情報④は、洪水予報河川に加え、水位周知河川、その他河川のあらかじめ定められた河川でのみ運用されます。このうち、洪水予報河川は、レベル5氾濫特別警報と一体的に発表されます。

河川氾濫・大雨に関する情報体系と名称

河川氾濫等に関する情報				大雨に関する情報
分類	洪水予報河川	水位周知河川	その他河川	—
河川数	約400河川	約1,800河川	約18,000河川	—
発表主体	河川事務所または都道府県と気象台	河川事務所または都道府県	河川事務所または都道府県	気象台
発表単位	河川ごと	河川ごと	河川ごと	市町村ごと
対象とする主な現象	外水氾濫	外水氾濫	外水氾濫	内水氾濫及び 洪水予報河川以外の外水氾濫
発表指標	水位（実測・予測）	水位（実測）	確認情報等	表面雨量指数・流域雨量指数 （解析・予測）
情報名称	5	レベル5氾濫発生情報④ ／レベル5氾濫特別警報	レベル5氾濫発生情報④	レベル5大雨特別警報
	4	レベル4氾濫危険警報①	レベル4氾濫危険情報②	レベル4大雨危険警報③
	3	レベル3氾濫警報	レベル3氾濫警戒情報	レベル3大雨警報
	2	レベル2氾濫注意報	レベル2氾濫注意情報	レベル2大雨注意報
	1	早期注意情報		早期注意情報
			市町村ごと の大雨警報を 参考に判断	

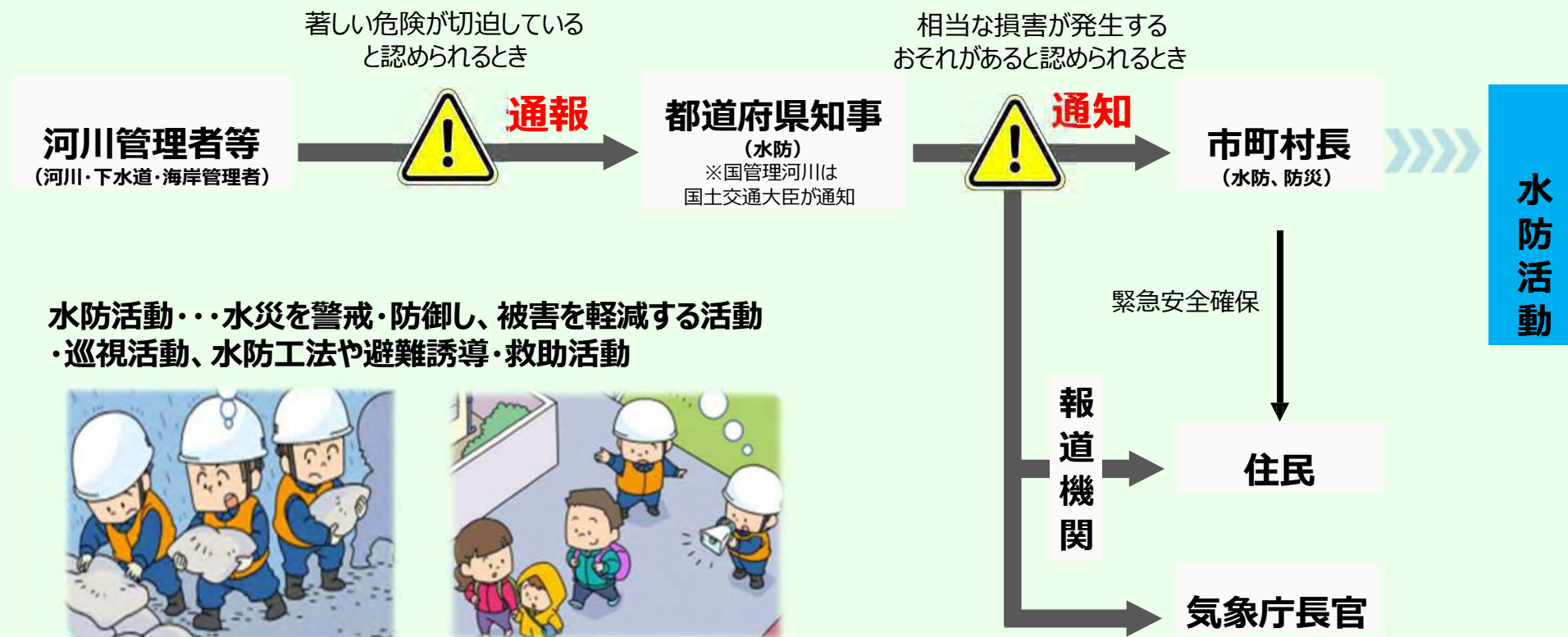
河川管理者等による氾濫に係る通報

- 氾濫によって住民の生命に影響が及ぶ蓋然性が高くなる状況（警戒レベル5となる場合）においては、その状況の速やかな把握や迅速な身の安全を守る行動等の対応をとることが重要となる。
- 氾濫による著しい危険が切迫した状態にあることを、河川管理者等が水防事務を担う都道府県知事等にプッシュ型で通報し、通報を受けた都道府県知事が、水防関係者に通知を行うことで、市町村長等による迅速な緊急安全確保措置の指示やその他の的確な水防活動に繋げる。

※なお、通報を受けた都道府県知事が気象庁長官にも通知を行うことで、特別警報の発表の判断要素として活用される。

※浸水想定区域・・・住宅等が所在する区域において、洪水や高潮による氾濫等により浸水が想定される区域（市町村がハザードマップを作成することとなっている）

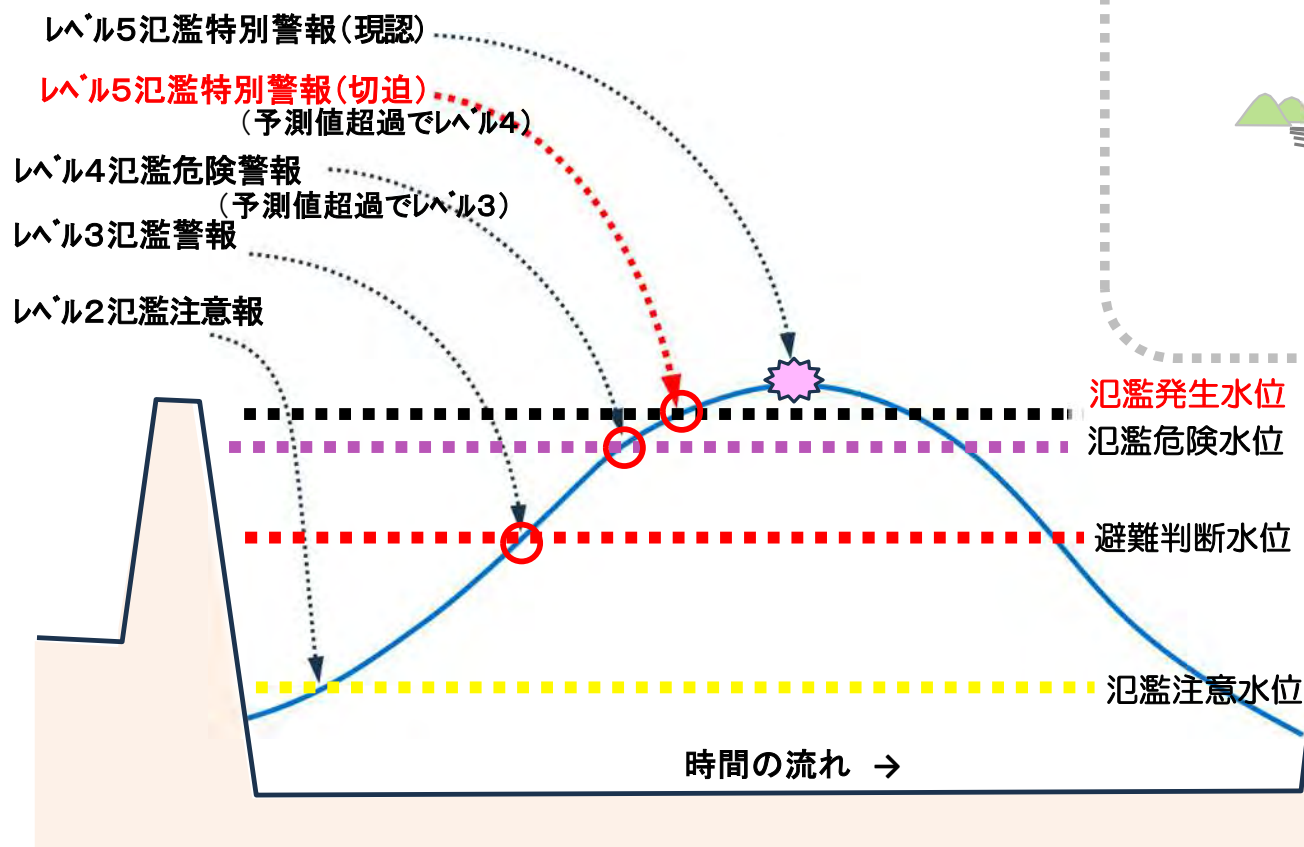
新たな通報制度の概要



氾濫発生水位と氾濫特別警報(切迫)

従来の氾濫発生を現認した時点に加え、予測水位等の情報から「**氾濫発生水位**」に到達することの蓋然性が高まったときには**レベル5 氾濫特別警報（切迫）**を発令する運用が追加されました。

(イメージ図)



氾濫発生水位（旧：氾濫する可能性のある水位）

洪水予報区間内で最も越水・溢水の可能性が高い箇所
 箇所で氾濫が始まるときの水位を、そこを受け持つ
 水位観測所における水位に換算した水位

(イメージ図)



山国川流域タイムライン

1/4

8

山国川流域タイムライン 詳細表 (案)

紫文字:意見聴取後の修正

赤文字

:主なトリガー情報や体制

:連携や情報共有の発信元

R8.5.19時点

2/4

警戒 レベル	トリガー情報		対応 目標	対 応 行 動																					
	気象情報 (気象台)	河川水位		福岡管区気象台 大分地方気象台	山国川河川事務所	福岡県		大分県		市町															
						福岡県庁	京築県土 整備事務所	大分県庁	北部振興局・ 中津土木事務所	吉富町	上毛町	中津市													
警戒 レベル2 流域警戒 ステージ2-2	九州北部地方に 線状降水帯による 大雨の半日程度前からの 呼びかけ (府県気象情報)	水防団待機水位超過 金谷(山国川) : 4.70m 下唐原(山国川) : 4.40m 上曾木(山国川) : 3.80m 棉坂(山国川) : 2.80m 耶馬嶺(鈴田川) : 1.00m 宇治見橋(山国川) : 1.10m 馬場(山移川) : 3.20m	体制等	注意体制	災害警戒本部設置	災害警戒地方本部 設置	災害対策連絡室設置 水防本部の設置	準備体制	第1配備(準備体制)	第1配備(準備体制)	災害準備体制														
					直近の24時間雨量が250mmを超え、かつ、直近の1時間雨量が70mmを超えた場合(ただし、山国川の水位観測点は除く) 災害対策本部(第1配備)の設置	府県気象情報で、250mm/24時間以上、70mm/1時間以上と予想された場合 災害対策地方本部の設置		地区災害対策連絡室設置 水防支部の設置																	
					水防警報(待機・準備)	水防警報(待機・準備)	水防警報(待機・準備)	水防警報(待機・準備)	○水防団へ待機・準備指示	○水防団へ待機・準備指示	○水防団へ待機・準備指示														
					○ホットライン				○ホットライン情報を受け対応を検討	○ホットライン情報を受け対応を検討	○ホットライン情報を受け対応を検討														
	洪水キキクル:黄色 ・各種府県気象情報 ・気象台ホットライン	気象台に個別確認が必要	○ホットライン	○主に下記情報を提供 ・洪水キキクル ・府県気象情報(線状降水帯予測を含む)等 ○県や中津市からのホットライン対応	○水門、極門、非水地場等の操作 ○ダム操作前の下流監視	○気象、雨量、水位情報(風速(台風時)の把握 ○県内の高齢者等避難の発令状況確認 ○県内の避難所開設状況の確認 ○県内の被害状況等の確認 ○市内町村へ高齢者等避難の発令要請の要請 ○け内関係者への情報提供、県民への注意喚起(線状降水帯半日前予測時) ○必要に応じて、九地整、日衛隊等への派遣要請の検討・準備、市内町村への派遣の検討・準備	○気象、雨量、水位情報の把握	○気象、雨量、水位情報の把握	○気象、雨量、水位情報の把握	○気象、雨量、水位情報の把握	○河川水位、雨量、降水短時間予報の把握 ○連絡委員の配置 ○水防門等の操作	○河川水位、雨量、降水短時間予報の把握 ○連絡委員の配置 ○水防門等の操作	○河川水位、雨量、降水短時間予報の把握 ○連絡委員の配置 ○水防門等の操作												
	3時間先予測水位が、氾濫危険水位に到達した場合 洪水予報(水位予測に基づき氾濫危険警報)	体制等	氾濫注意水位超過 金谷(山国川) : 5.40m 下唐原(山国川) : 5.00m 上曾木(山国川) : 5.30m 棉坂(山国川) : 3.80m 耶馬嶺(鈴田川) : 2.30m 宇治見橋(山国川) : 2.60m 馬場(山移川) : 4.10m	洪水予報(氾濫注意報)	洪水予報(氾濫注意報)	警戒体制	準備配置体制 (第1配備)	災害警戒本部設置	第2配備 (注意体制)	第2配備 (注意体制)	非常配備体制 災害警戒本部設置														
3時間先予測水位が、氾濫危険水位に到達した場合 洪水予報(水位予測に基づき氾濫危険警報)	連絡や 情報共有	○ホットライン(水位予測に基づく氾濫危険警報) ○耶馬嶺ダム流量予測(3-6時間予測)(概ね1時間毎)、自治体と情報共有(適宜) ○リエゾンの派遣	○水防警報(出動)	水防警報(出動)	水防警報(出動)	水防警報(出動)	水防警報(出動)	○水防団へ出動指示	○水防団へ出動指示	○水防団へ出動指示															
3時間先予測水位が、氾濫危険水位に到達した場合 洪水予報(水位予測に基づき氾濫危険警報)	その他の 対応行動	○主に下記情報を提供 ・洪水キキクル ・府県気象情報 ○県や中津市からのホットライン対応	○出水時点検(監視) ○CCTVによる監視強化 ○応援体制の構築・要請(防災エクスパート等) ○ダム放流開始(操作開始)	○気象、雨量、水位情報(風速(台風時)の把握 ○県内の高齢者等避難の発令状況確認 ○県内の避難所開設状況の確認 ○県内の被害状況等の確認	○気象、雨量、水位情報の把握	○気象、雨量、水位情報の把握	○気象、雨量、水位情報の把握	○気象、雨量、水位情報の把握	○市長若しくは代理者の発令 ○必要に応じて、助言の要請 ○監視・水防活動状況報告 ○避難所開設の準備	○市長若しくは代理者の発令 ○必要に応じて、助言の要請 ○監視・水防活動状況報告 ○避難所開設の準備	○市長若しくは代理者の発令 ○必要に応じて、助言の要請 ○監視・水防活動状況報告 ○避難所開設の準備														

山国川流域タイムライン 詳細表 (案)

※赤字:意見聴取後の修正

赤字文字

:主なトリガー(情報や体制)

:連携や情報共有の無償元

R8.5.19時点

警戒 レベル	トリガー情報		対応 目標	対 応 行 動									
	気象情報 (気象台)	河川水位		福岡管区気象台 大分地方気象台	山国川河川事務所	福岡県		大分県		市町			
						福岡県庁	京築県土 整備事務所	大分県庁	北部振興局・ 中津土木事務所	吉富町	上毛町	中津市	
警戒 レベル3	・大雨警報 ・洪水キキクル:赤色 ・各種府県気象情報 ・気象台ホットライン	避難判断水位超過 下唐原(山国川) : 6.00m 榑 坂 (山国川) : 4.40m 耶麻橋(耶田川) : 3.00m 宇治見橋(山国川):3.40m 馬 場 (山移川) : 4.40m	体制等				準備配置体制 (第2配備)	災害警戒本部設置	警戒体制 地区災害警戒本部設置	第3配備(警戒体制) 災害警戒本部設置	第3配備(警戒体制) 災害警戒本部設置	非常配備体制 災害対策本部設置	
流域警戒 ステージ3				洪水予報(氾濫警報)	洪水予報(氾濫警報)						高齢者等避難 の発令	高齢者等避難 の発令	高齢者等避難 の発令
			避難情報関連	洪水予報(水位予測に基づ く氾濫警報)	※3時間先予測水位が、氾濫危 険水位に到達した場合 洪水予報(水位予測に基づ く氾濫警報)								
					水防警報(警戒)		水防警報(警戒)		水防警報(警戒)				
			連携や 情報共有	○ホットライン (避難判断水位超過)						○ホットライン情報を受け対 応を検討	○ホットライン情報を受け対 応を検討	○ホットライン情報を受け対応を検討	○ホットライン情報を受け対応を検討
				○河川の洪水・浸食情報提供		○河川の洪水・浸食情報 提供		○河川の洪水・浸食情報提供	○洪水・浸食情報をもとに 対応を検討	○洪水・浸食情報をもとに 対応を検討	○洪水・浸食情報をもとに 対応を検討		
			その他の 対応行動	○主に下記情報を提供 ・洪水キキクル ・府県気象情報 ・記録的短時間大雨情報 ○県や市町からのホット ライン対応	○随時・随時操作状況の情報共 有(操作員の避難状況も併せて 確認) ○県内の高齢者等避難の 発令状況確認 ○県内の避難所開設状況 の確認 ○県内の被害状況等の確 認 ○県内避難所への情報提 供、県民への注意喚起 (浸水・洪水発生時) ○市町村へ避難指示の発 令検討の要請(土砂災害 警戒情報発令時)	○気象、雨量、水位情報 (風速(台風時))の把握 ○県内の高齢者等避難の 発令状況確認 ○県内の避難所開設状況 の確認 ○県内の被害状況等の確 認	○気象、雨量、水位情報 の把握 ○県内の高齢者等避難の 発令状況確認 ○県内の避難所開設状況 の確認 ○県内の被害状況等の確 認	○気象、雨量、水位情報の把 握 ○管内市町村の避難所開設状 況の確認 ○管内市町村の避難情報の発 令状況確認 ○管内市町村の避難者数の確 認 ○管内市町村の被害状況等の 確認	避難対応、避難誘導等	避難対応、避難誘導等	避難対応、避難誘導等		
警戒 レベル4	・洪水キキクル:紫色 ・各種府県気象情報 ・気象台ホットライン	氾濫危険水位超過 下唐原(山国川) : 6.50m 榑 坂 (山国川) : 4.80m 耶麻橋(耶田川) : 3.70m 宇治見橋(山国川):4.10m 馬 場 (山移川) : 4.40m	体制等		非常体制	災害対策本部(規模に 応じて第2～4配備)設 置	準備配置体制 (第2配備) 災害対策地方本部 設置	災害対策本部設置	非常体制 (第1次～第3次) 地区災害対策本部設置	第4配備(救助体制) 災害対策本部設置	第4配備(救助体制) 災害対策本部設置	第5配備(非常体制) 第5配備(非常体制)	
流域警戒 ステージ4			避難情報	洪水予報(氾濫危険警報)	洪水予報(氾濫危険警報)						避難指示の発令	避難指示の発令	避難指示の発令
				洪水予報(水位予測に基づ く氾濫危険警報)	○例外的な対応(個別)箇所 ・山国川右岸3.2k(下唐原 6.80m) ・山国川左岸5.0k(下唐原 6.80m) ・山国川右岸11.8k(榑坂 5.28m)						○個別対応 (山国川左岸3.2kの避難対 応)	○個別対応 (山国川左岸3.2k、5.0kの避難対 応)	○個別対応 (山国川右岸11.8kの避難対 応)
			連携や 情報共有	○ホットライン	○ホットライン (氾濫危険水位超過)						○ホットライン情報を受け対 応を検討	○ホットライン情報を受け対 応を検討	○ホットライン情報を受け対応を検討
					○緊急通報メール(氾濫危険水 位超過)						○緊急通報メールをもとに 対応を検討	○緊急通報メールをもとに 対応を検討	○緊急通報メールをもとに 対応を検討
	○耶麻橋ダムの特別防災操 作要領検討(実施)							○特別防災操作要領	○特別防災操作要領	○特別防災操作要領			
	○異常洪水時防災操作に關 する3時間前情報提供 通知文(3時間前)							○ダム放流による更なる 避難指示(範囲拡大)	○ダム放流による更なる 避難指示(範囲拡大)	○ダム放流による更なる 避難指示(範囲拡大)			
				○異常洪水時防災操作に關 する1時間前通知					○ダム放流による更なる 避難指示(範囲拡大)	○ダム放流による更なる 避難指示(範囲拡大)	○ダム放流による更なる 避難指示(範囲拡大)		
			その他の 対応行動	○主に下記情報を提供 ・洪水キキクル ・府県気象情報 ・記録的短時間大雨情報 ○県や市町からのホット ライン対応	○水門操作員の避難指示 ○災害対策機械の派遣 ○流入量予測(3～6時間予測) ・ホットライン(事務所) ○異常洪水時防災操作申請 →整備局	○気象、雨量、水位情報 (風速(台風時))の把握 ○県内の高齢者等避難の 発令状況確認 ○県内の避難所開設状況 の確認 ○県内の被害状況等の確 認 ○市内町村への緊急安全警 戒の発令検討の要請 ○災害の発生のおそれ既 時での対応の検討(県内 応援・緊急消防援助隊)	○気象、雨量、水位情報 の把握 ○県内の避難指示の発令 状況確認 ○県内の避難所開設状況 の確認 ○県内の被害状況等の確 認	○気象、雨量、水位情報の把 握 ○管内市町村の避難所開設状 況の確認 ○管内市町村の避難情報の発 令状況確認 ○管内市町村の避難者数の確 認 ○管内市町村の被害状況等の 確認	避難対応、避難誘導等	避難対応、避難誘導等	避難対応、避難誘導等		

山国川流域タイムライン 詳細表 (案)

警戒 レベル	トリガー情報		対応 目標	対 応 行 動								
	気象情報 (気象台)	河川水位		福岡管区気象台 大分地方気象台	山国川河川事務所	福岡県		大分県		市町		
						福岡県庁	京築県土 整備事務所	大分県庁	北部振興局・ 中津土木事務所	吉富町	上毛町	中津市
警戒 レベル5	・洪水キキクル:黒色 ・各種府県気象情報 ・気象台ホットライン	氾濫発生水位超過 下唐原(山国川) :8.09m 柿坂(山国川) :6.46m 馬場(山移川) :6.15m	避難情報	洪水予報(氾濫発生情報 /氾濫特別警報)	洪水予報(氾濫発生情報/氾濫 特別警報)					緊急安全確保の発令	緊急安全確保の発令	緊急安全確保の発令
流域警戒 ステージ5			○ホットライン	○ホットライン (氾濫発生水位超過)					○ホットライン情報を受け対 応を検討	○ホットライン情報を受け対 応を検討	○ホットライン情報を受け対応を検討	
				○緊急速報メール(氾濫発生)					○緊急速報メールをもとに対 応を検討	○緊急速報メールをもとに対 応を検討	○緊急速報メールをもとに対応を検討	
				○異常洪水時防災操作開始・操 作終了通知文(開始時)					○ダム放流による更なる 避難指示(範囲拡大)	○ダム放流による更なる 避難指示(範囲拡大)	○ダム放流による更なる 避難指示(範囲拡大)	
				○耶麻渡ダムの特別防災操作 実施検討(実施)					○特別防災操作要請	○特別防災操作要請	○特別防災操作要請	
	氾濫特別警報/氾濫発生情報		連携や 情報共有									
	氾 濫 発 生											
			その他の 対応行動	自主に下記情報を提供 ・洪水キキクル ○県や市町からのホットラ イン対応	○被害状況の把握 (ヘリコプター等による迅速な状 況把握) ○TEC FORCEの活動 ○被害状況・調査結果等の公表	○気象、雨量、水位情報 (風速(台風時))の把握 ○被害状況等の把握 ○緊急消防援助隊の要 請、自衛隊災害派遣要請 の検討 ○自衛隊へ災害派遣要請 ○各種応援協定等に基づ く応援要請検討	○気象、雨量、水位情報 の把握 ○市町村長へのホットライ ン(氾濫発生)	○気象、雨量、水位情報の把 握 ○被害状況等の把握 ○緊急消防援助隊の要 請、自衛隊災害派遣要請 の検討 ○自衛隊へ災害派遣要請 ○各種応援協定等に基づ く応援要請検討	○気象、雨量、水位情報の把 握 ○管内市町村の避難所開設状 況の確認 ○管内市町村の避難情報の発 令状況確認 ○管内市町村の避難者数の確 認 ○管内市町村の被害状況等の 確認 ○管内市町村の被害状況等の 確認 ○市町村長へのホットライン (氾濫発生)	○自衛隊への派遣要請 ○避難者への支援	○自衛隊への派遣要請 ○避難者への支援	○自衛隊への派遣要請 ○避難者への支援